小規模企業景気動向調査

［２０２２年４月期調査］

～規制緩和により一部では好調も、コスト増による採算の悪化で足踏み状態の小規模企業景況～

2022 年 5 月 27 日
全国商工会連合会

＜調査概要＞

調査対象：全国約 300 商工会の経営指導員
調査時点：2022 年 4 月末
調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

＜産業全体＞ ◇…規制緩和により一部では好調も、コスト増による採算の悪化で足踏み状態の小規模企業景況…◇

４月期の産業全体の業況は、売上額 DI が小幅に改善、資金繰り DI が横ばいで、採算・業況 DI はわずかな悪化となった。一部業種では、まん延防止等重点措置が解除され、人の流れが戻る中迎えた GW が売上改善の追い風となった。しかし、全業種にわたり、長引く原油及び原材料高騰に加えて、ロシアによるウクライナ侵攻や急激な円安等の事業環境変化で、コストが大幅に増加しており、利益が圧迫されている。事業者は業況の改善を実感できない状況に追い込まれている。特に、建設業では幅広く影響が出ており、今後の動向に注意が必要である。

＜製 造 業＞ ◇…原材料高騰やコストの増加の影響で、利益率の悪化に苦しむ製造業…◇

製造業は、売上・採算 DI がわずかに改善、資金繰りDI、業況 DI は小幅な悪化となった。食料品関連は、売上は引き続き回復基調も、小麦や油等の価格高騰により採算に苦しみ、業況は芳しくない。機械・金属業は、原材料高騰の影響が大きく、先月に続き採算が悪化しており、価格転嫁が十分にできていないとのコメントがあった。繊維関係は、売上の低迷に加え、原材料高騰やコストの増加が追い打ちをかけており、厳しい状況が続いている。

＜建 設 業＞ ◇…資材不足による工期遅延、資材価格高騰による採算の悪化に苦しむ建設業…◇

建設業は、採算・業況DI が 10 ポイント超、売上額 DI が大幅な悪化となった。採算・業況の悪化幅は昨年のウッドショック時を超え、深刻さがうかがえる。物によっては単価が倍になるという建築資材単価の上昇や資材不足による工期の遅れが採算を圧迫している。また、当初の見積金額から急激に経費上昇したことに伴う契約見直しの発生や、契約済みの工事について契約変更による価格転嫁ができず、苦慮しているとの声があった。

＜小 売 業＞ ◇…相次ぐ値上げによる消費の冷え込みに苦しみ、悪化に転じた小売業…◇

小売業は、先月の回復から、売上額・採算DIが大幅、業況 DI が小幅な悪化に転じた。食料品関連は、商品価格の値上げが相次いでいることから、消費者が安売り店へ流出したり、買い控えをしているとの声があった。耐久消費財関連は、引き続き半導体不足の中、新車・中古車ともに欠品や納期遅れが生じているのに加え、交換部品の値上がりで採算の悪化が見られるとのコメントがあった。衣料品関係は、人の流れが増え売上も回復しているという声がある一方、引き続き低迷しているとの声もあり、明暗が分かれた。

＜サービス業＞ ◇…規制緩和により旅館関連は好調も、限定的な回復にとどまるサービス業…◇

サービス業は、売上額・業況 DI が先月に続き 10pt超の改善、採算・資金繰り DI も改善した。旅館関連は、まん延防止等重点措置の解除や規制なしの GW によって、小規模な旅行者の予約が大きく回復しているとの声があり、先月に引き続き全 DI が 10pt超回復した。洗濯関連は、引き続き、原油価格高騰の影響を強く受け、採算が悪化しているとの声が多く見られた。理美容関連は、売上は回復傾向にあるが、原材料高騰を受け採算は厳しく、一部には、価格転嫁を検討するものの、競合店が値上げしていないため、顧客離れを恐れ実行できていないとの声があった。

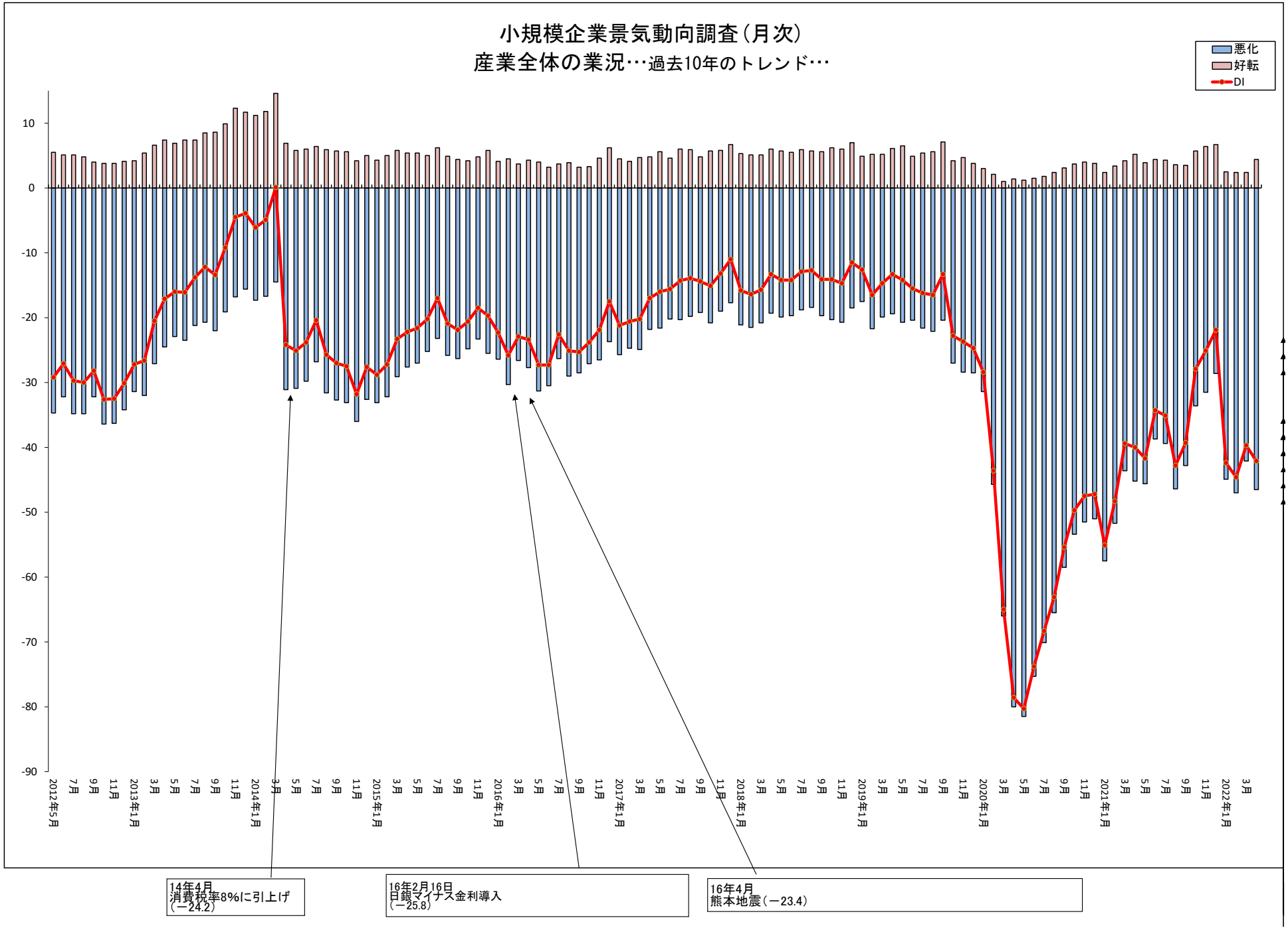
業 種	産業全体			製造業			建設業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲ 23.4	▲ 22.2	1.2	▲ 21.3	▲ 21.1	0.2	▲ 15.0	▲ 20.3	▲ 5.3
採 算	▲ 47.1	▲ 51.5	▲ 4.4	▲ 57.1	▲ 56.2	0.9	▲ 45.8	▲ 59.0	▲ 13.2
資金繰り	▲ 37.7	▲ 37.7	0.0	▲ 40.8	▲ 43.6	▲ 2.8	▲ 35.6	▲ 38.9	▲ 3.3
業 況	▲ 39.7	▲ 42.1	▲ 2.4	▲ 43.8	▲ 47.4	▲ 3.6	▲ 34.2	▲ 46.0	▲ 11.8

業 種	小売業			サービス業		
	3月	4月	前月比	3月	4月	前月比
売上額	▲ 23.7	▲ 28.7	▲ 5.0	▲ 33.7	▲ 18.8	14.9
採 算	▲ 45.4	▲ 52.2	▲ 6.8	▲ 40.4	▲ 38.3	2.1
資金繰り	▲ 37.7	▲ 38.3	▲ 0.6	▲ 36.5	▲ 30.3	6.2
業 況	▲ 40.4	▲ 44.9	▲ 4.5	▲ 40.2	▲ 30.2	10.0

注）DI（景気動向指数）は各調査項目について、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

〒100－0006 東京都千代田区有楽町 1-7-1 有楽町電気ビル北館 19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:元木

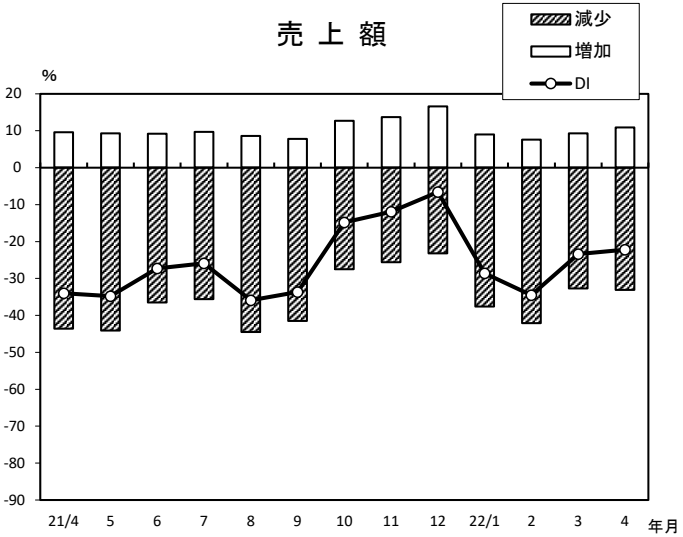
小規模企業景気動向調査（月次）
産業全体の業況…過去10年のトレンド…



小規模企業景気動向調査(2022年4月期)

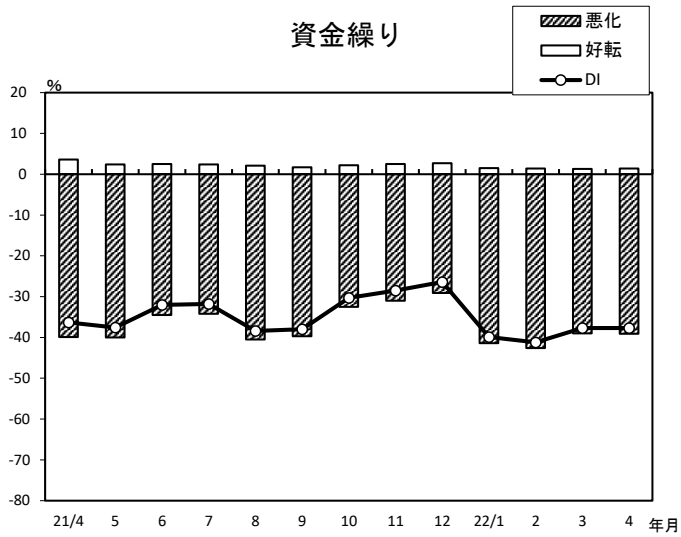
産 業 全 体(前年同月比)

売 上 額



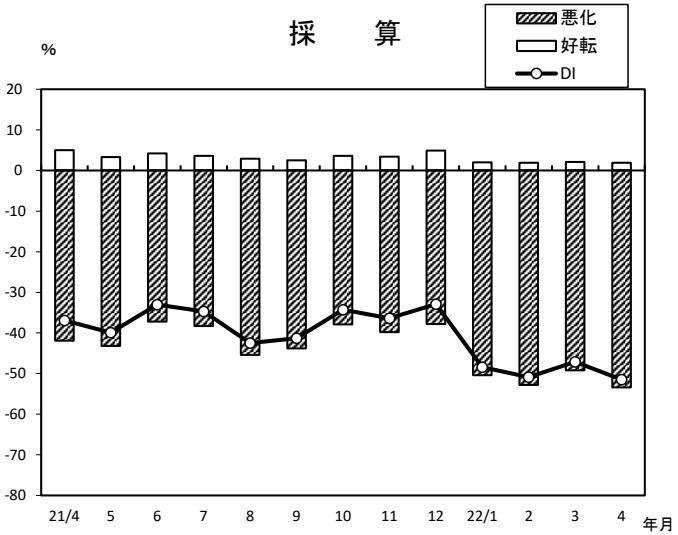
年/月	増加	減少	DI
21/4	9.6	-43.6	-34.0
5	9.3	-44.1	-34.8
6	9.2	-36.5	-27.3
7	9.7	-35.6	-25.9
8	8.6	-44.5	-35.9
9	7.8	-41.5	-33.7
10	12.7	-27.5	-14.8
11	13.7	-25.6	-11.9
12	16.6	-23.2	-6.6
22/1	9.0	-37.6	-28.6
2	7.6	-42.1	-34.5
3	9.3	-32.7	-23.4
4	10.9	-33.1	-22.2

資金繰り



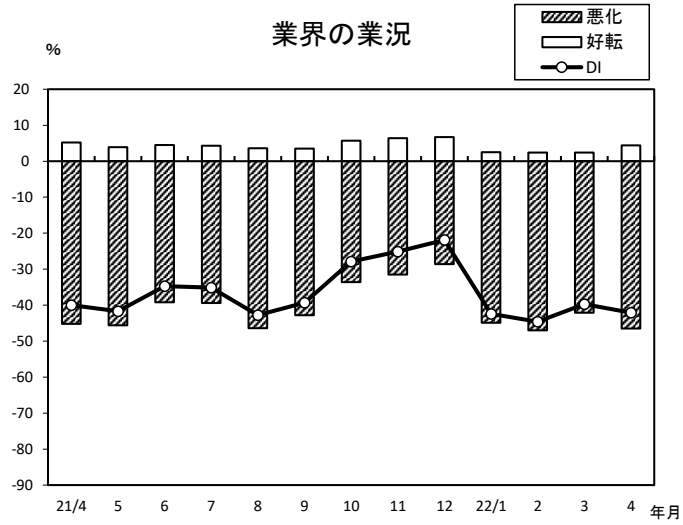
年/月	好転	悪化	DI
21/4	3.6	-39.9	-36.3
5	2.4	-40.0	-37.6
6	2.5	-34.5	-32.0
7	2.4	-34.2	-31.8
8	2.1	-40.5	-38.4
9	1.7	-39.7	-38.0
10	2.2	-32.5	-30.3
11	2.5	-31.0	-28.5
12	2.7	-29.1	-26.4
22/1	1.5	-41.4	-39.9
2	1.4	-42.6	-41.2
3	1.3	-39.0	-37.7
4	1.4	-39.1	-37.7

採　　算



年/月	好転	悪化	DI
21/4	5.0	-41.9	-36.9
5	3.3	-43.2	-39.9
6	4.2	-37.2	-33.0
7	3.6	-38.3	-34.7
8	2.9	-45.4	-42.5
9	2.5	-43.8	-41.3
10	3.6	-37.9	-34.3
11	3.4	-39.8	-36.4
12	4.9	-37.8	-32.9
22/1	2.0	-50.4	-48.4
2	1.9	-52.8	-50.9
3	2.1	-49.2	-47.1
4	1.9	-53.4	-51.5

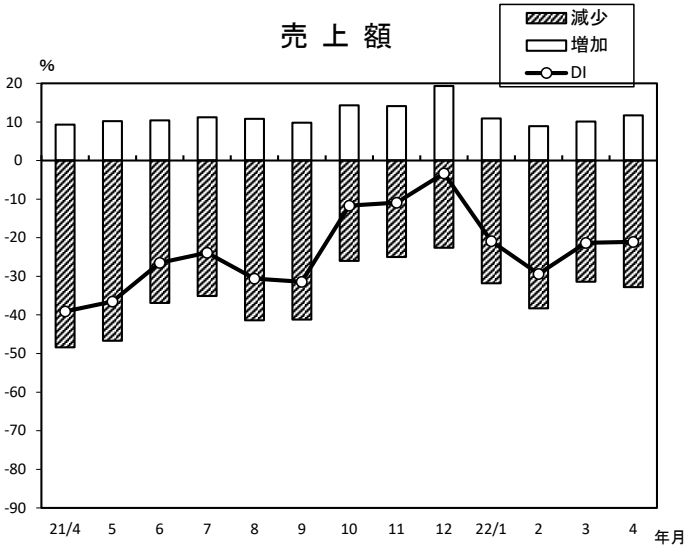
業界の業況



年/月	好転	悪化	DI
21/4	5.2	-45.2	-40.0
5	3.9	-45.6	-41.7
6	4.5	-39.2	-34.7
7	4.3	-39.4	-35.1
8	3.6	-46.4	-42.8
9	3.5	-42.8	-39.3
10	5.7	-33.6	-27.9
11	6.4	-31.5	-25.1
12	6.7	-28.6	-21.9
22/1	2.5	-44.9	-42.4
2	2.4	-47.0	-44.6
3	2.4	-42.1	-39.7
4	4.4	-46.5	-42.1

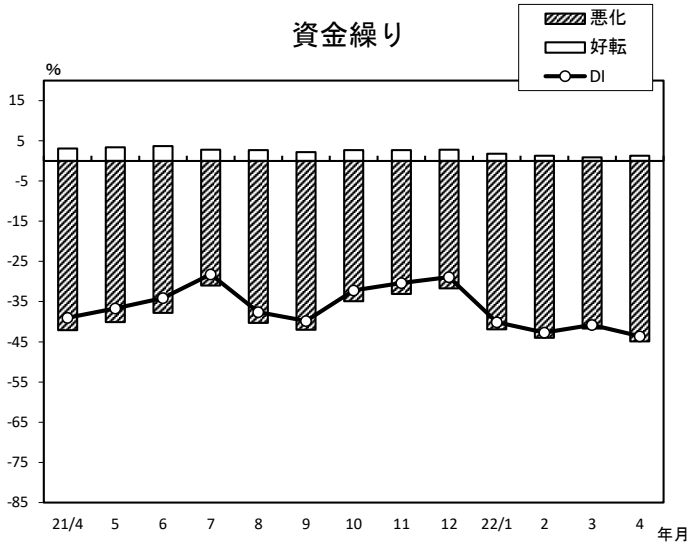
製 造 業(前年同月比)

売 上 額



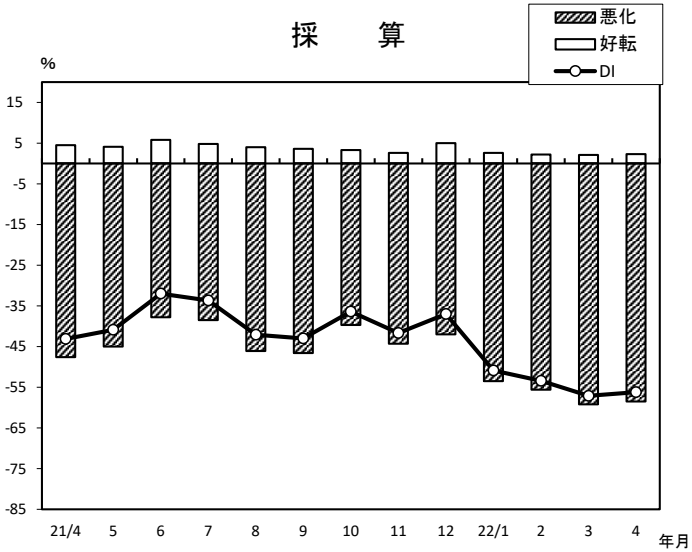
年/月	増加	減少	DI
21/4	9.3	-48.4	-39.1
5	10.2	-46.7	-36.5
6	10.4	-36.9	-26.5
7	11.2	-35.1	-23.9
8	10.8	-41.4	-30.6
9	9.8	-41.2	-31.4
10	14.3	-26.0	-11.7
11	14.1	-25.0	-10.9
12	19.3	-22.6	-3.3
22/1	10.9	-31.8	-20.9
2	8.9	-38.3	-29.4
3	10.1	-31.4	-21.3
4	11.7	-32.8	-21.1

資金繰り



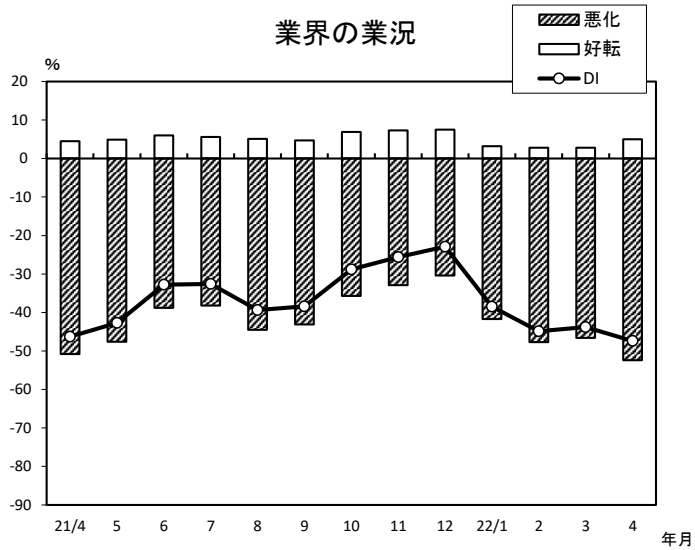
年/月	好転	悪化	DI
21/4	3.1	-42.1	-39.0
5	3.4	-40.1	-36.7
6	3.7	-37.8	-34.1
7	2.8	-31.0	-28.2
8	2.7	-40.3	-37.6
9	2.2	-42.0	-39.8
10	2.7	-34.9	-32.2
11	2.7	-33.1	-30.4
12	2.8	-31.7	-28.9
22/1	1.8	-41.9	-40.1
2	1.3	-44.0	-42.7
3	0.9	-41.7	-40.8
4	1.3	-44.9	-43.6

採　　算



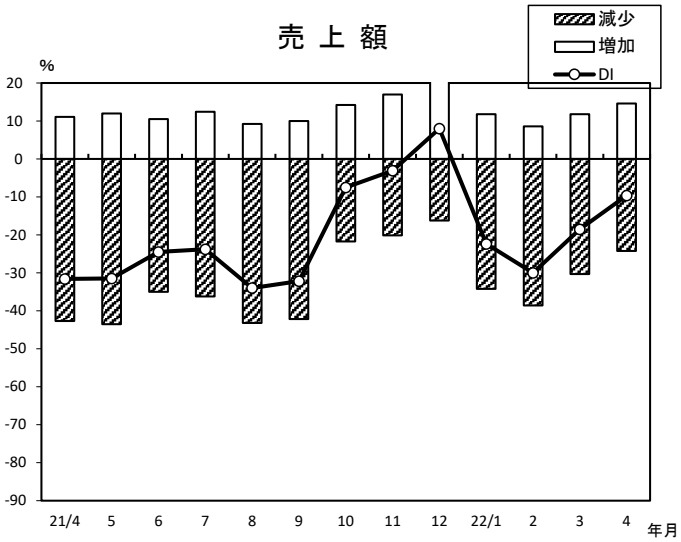
年/月	好転	悪化	DI
21/4	4.5	-47.6	-43.1
5	4.1	-45.0	-40.9
6	5.8	-37.8	-32.0
7	4.8	-38.5	-33.7
8	4.0	-46.1	-42.1
9	3.6	-46.6	-43.0
10	3.3	-39.7	-36.4
11	2.6	-44.3	-41.7
12	5.0	-42.0	-37.0
22/1	2.6	-53.5	-50.9
2	2.2	-55.6	-53.4
3	2.1	-59.2	-57.1
4	2.3	-58.5	-56.2

業界の業況

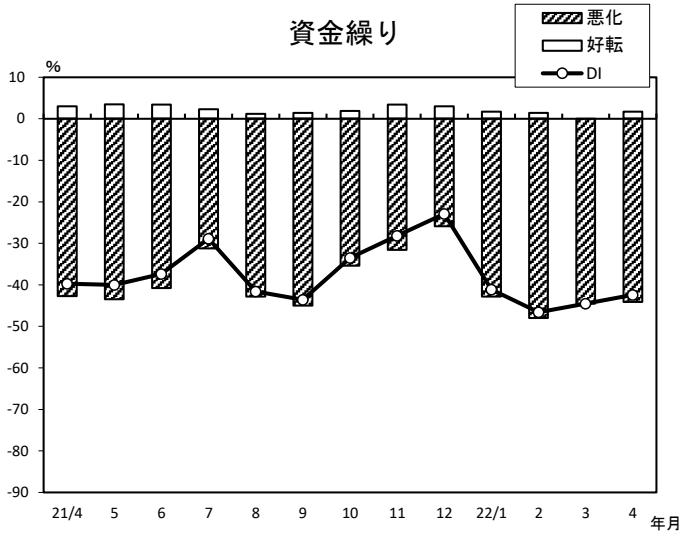


年/月	好転	悪化	DI
21/4	4.5	-50.8	-46.3
5	4.9	-47.6	-42.7
6	6.0	-38.8	-32.8
7	5.6	-38.2	-32.6
8	5.1	-44.5	-39.4
9	4.7	-43.1	-38.4
10	6.9	-35.7	-28.8
11	7.3	-32.9	-25.6
12	7.5	-30.4	-22.9
22/1	3.2	-41.7	-38.5
2	2.8	-47.7	-44.9
3	2.8	-46.6	-43.8
4	5.0	-52.4	-47.4

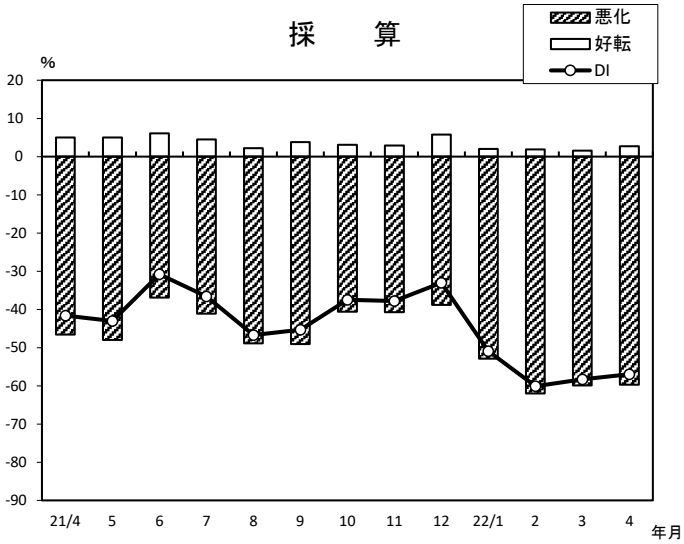
製 造 業【食料品】（前年同月比）



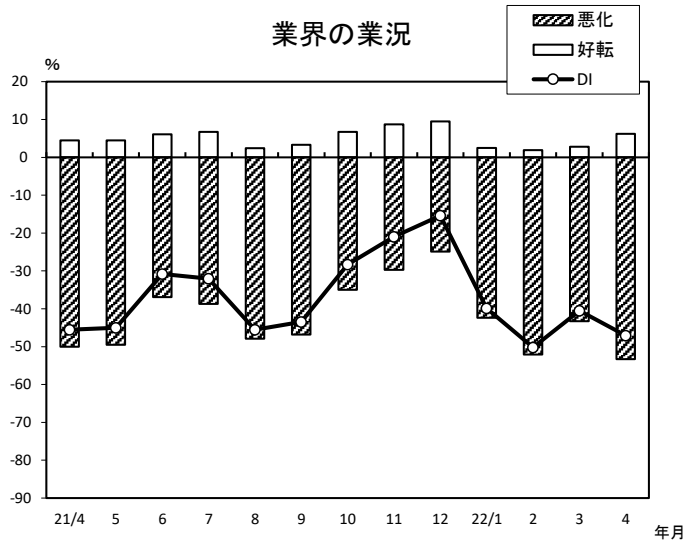
年/月	増加	減少	DI
21/4	11.1	-42.7	-31.6
5	12.0	-43.5	-31.5
6	10.5	-35.0	-24.5
7	12.4	-36.2	-23.8
8	9.2	-43.2	-34.0
9	10.0	-42.2	-32.2
10	14.2	-21.7	-7.5
11	17.0	-20.1	-3.1
12	24.2	-16.2	8.0
22/1	11.8	-34.2	-22.4
2	8.6	-38.6	-30.0
3	11.8	-30.3	-18.5
4	14.6	-24.2	-9.6



年/月	好転	悪化	DI
21/4	3.0	-42.7	-39.7
5	3.5	-43.5	-40.0
6	3.4	-40.8	-37.4
7	2.3	-31.2	-28.9
8	1.2	-42.8	-41.6
9	1.4	-45.0	-43.6
10	1.9	-35.4	-33.5
11	3.4	-31.6	-28.2
12	3.0	-25.9	-22.9
22/1	1.7	-42.8	-41.1
2	1.4	-48.0	-46.6
3	0.0	-44.5	-44.5
4	1.7	-44.1	-42.4

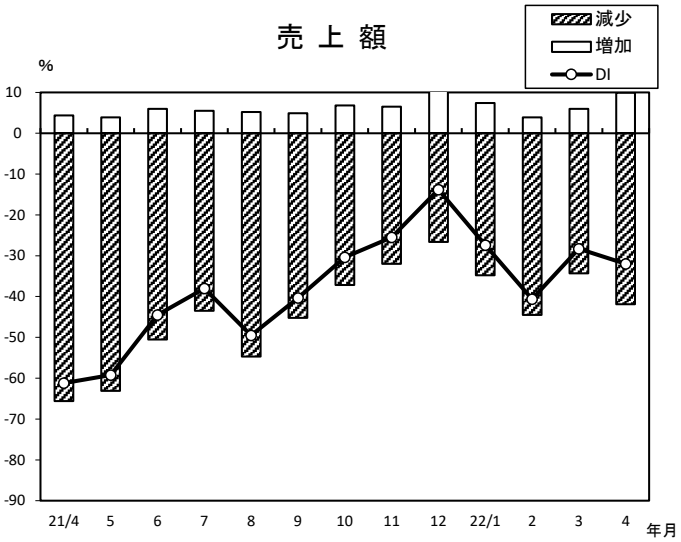


年/月	好転	悪化	DI
21/4	5.0	-46.6	-41.6
5	5.0	-48.0	-43.0
6	6.1	-36.9	-30.8
7	4.5	-41.1	-36.6
8	2.2	-48.9	-46.7
9	3.8	-49.1	-45.3
10	3.1	-40.6	-37.5
11	2.9	-40.7	-37.8
12	5.8	-38.8	-33.0
22/1	2.0	-52.9	-50.9
2	1.9	-62.0	-60.1
3	1.6	-59.9	-58.3
4	2.7	-59.7	-57.0

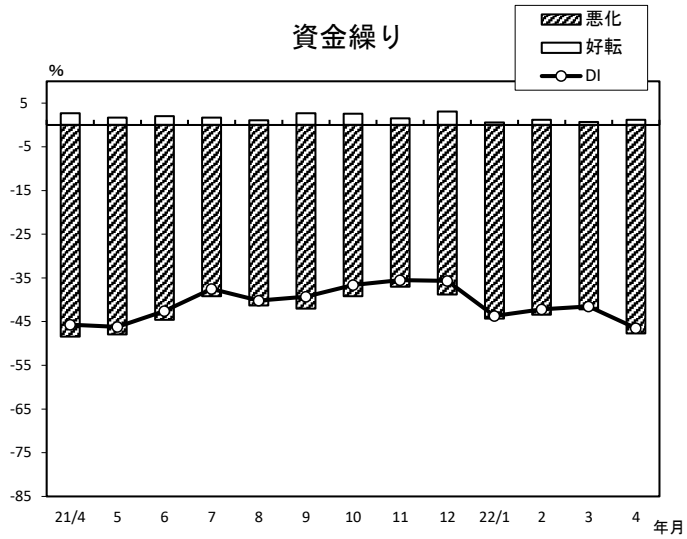


年/月	好転	悪化	DI
21/4	4.5	-50.0	-45.5
5	4.5	-49.5	-45.0
6	6.1	-36.9	-30.8
7	6.7	-38.7	-32.0
8	2.4	-47.9	-45.5
9	3.3	-46.8	-43.5
10	6.7	-35.0	-28.3
11	8.7	-29.7	-21.0
12	9.5	-24.9	-15.4
22/1	2.5	-42.4	-39.9
2	1.9	-52.1	-50.2
3	2.8	-43.3	-40.5
4	6.2	-53.3	-47.1

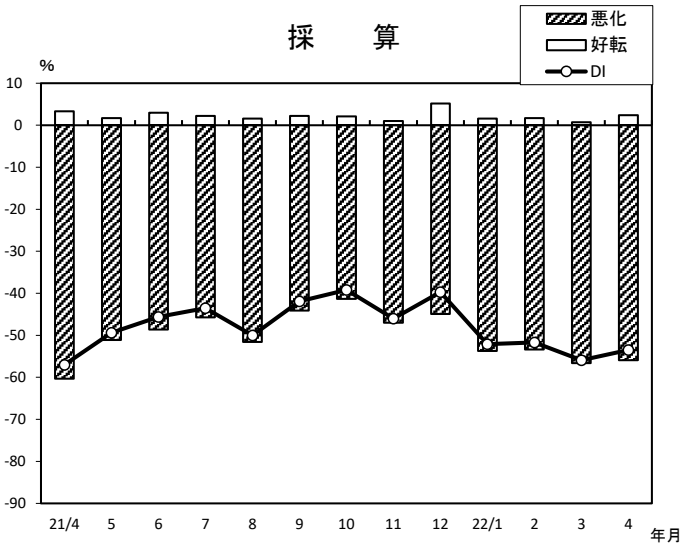
製 造 業【繊維】（前年同月比）



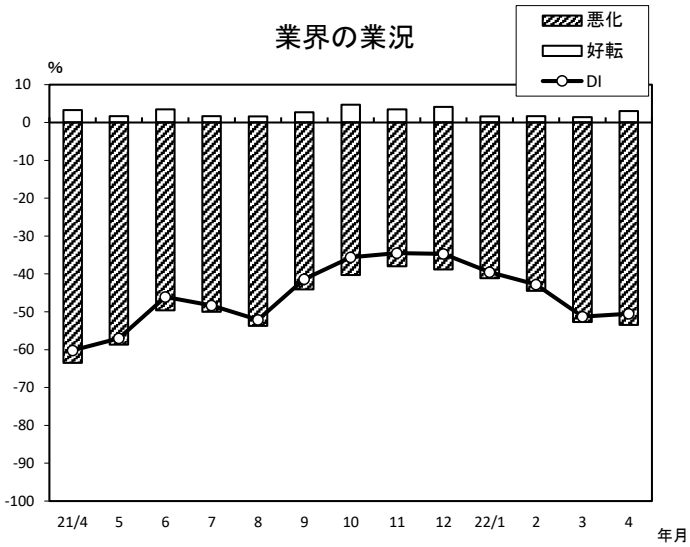
年/月	増加	減少	DI
21/4	4.4	−65.6	−61.2
5	3.9	−63.1	−59.2
6	6.0	−50.5	−44.5
7	5.5	−43.5	−38.0
8	5.2	−54.7	−49.5
9	4.9	−45.2	−40.3
10	6.8	−37.2	−30.4
11	6.5	−32.0	−25.5
12	12.8	−26.6	−13.8
22/1	7.4	−34.8	−27.4
2	3.9	−44.5	−40.6
3	6.0	−34.3	−28.3
4	9.9	−41.9	−32.0



年/月	好転	悪化	DI
21/4	2.7	−48.4	−45.7
5	1.7	−47.9	−46.2
6	2.0	−44.6	−42.6
7	1.7	−39.2	−37.5
8	1.1	−41.3	−40.2
9	2.7	−42.0	−39.3
10	2.6	−39.2	−36.6
11	1.5	−37.0	−35.5
12	3.1	−38.8	−35.7
22/1	0.6	−44.3	−43.7
2	1.2	−43.4	−42.2
3	0.7	−42.2	−41.5
4	1.2	−47.7	−46.5

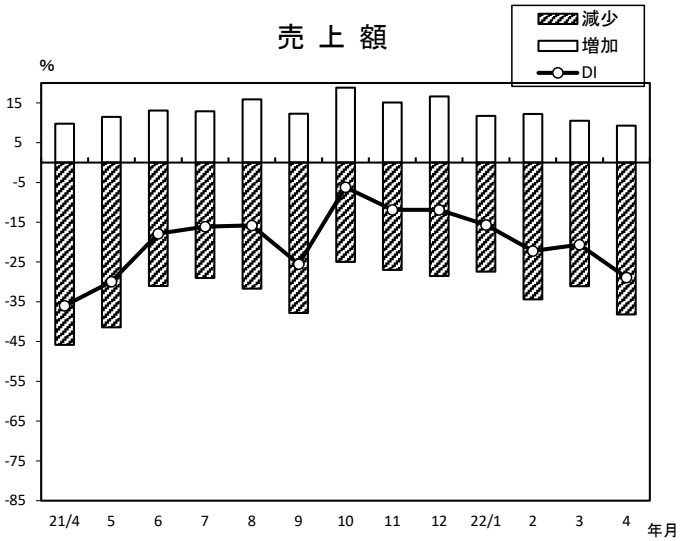


年/月	好転	悪化	DI
21/4	3.3	−60.3	−57.0
5	1.7	−51.1	−49.4
6	3.0	−48.6	−45.6
7	2.2	−45.7	−43.5
8	1.6	−51.6	−50.0
9	2.2	−44.1	−41.9
10	2.1	−41.3	−39.2
11	1.0	−47.0	−46.0
12	5.2	−44.9	−39.7
22/1	1.6	−53.7	−52.1
2	1.7	−53.4	−51.7
3	0.7	−56.6	−55.9
4	2.4	−55.9	−53.5

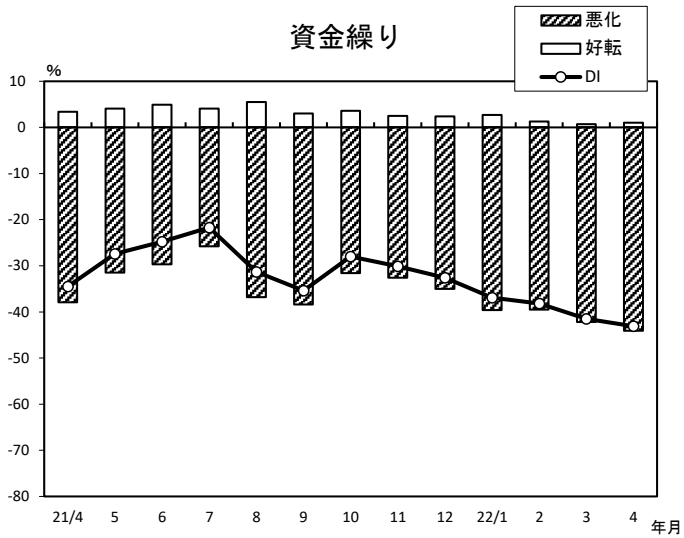


年/月	好転	悪化	DI
21/4	3.3	−63.5	−60.2
5	1.7	−58.7	−57.0
6	3.5	−49.6	−46.1
7	1.7	−50.0	−48.3
8	1.6	−53.7	−52.1
9	2.7	−44.1	−41.4
10	4.7	−40.3	−35.6
11	3.5	−38.0	−34.5
12	4.1	−38.8	−34.7
22/1	1.6	−41.1	−39.5
2	1.7	−44.5	−42.8
3	1.4	−52.7	−51.3
4	3.0	−53.5	−50.5

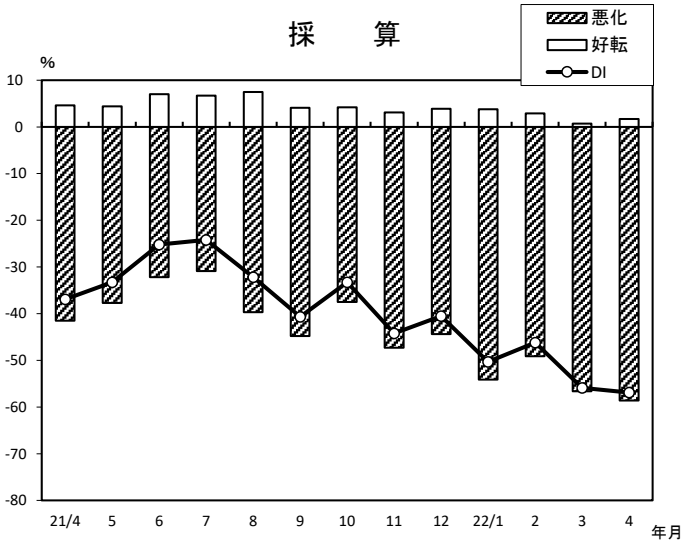
製 造 業【機械･金属】（前年同月比）



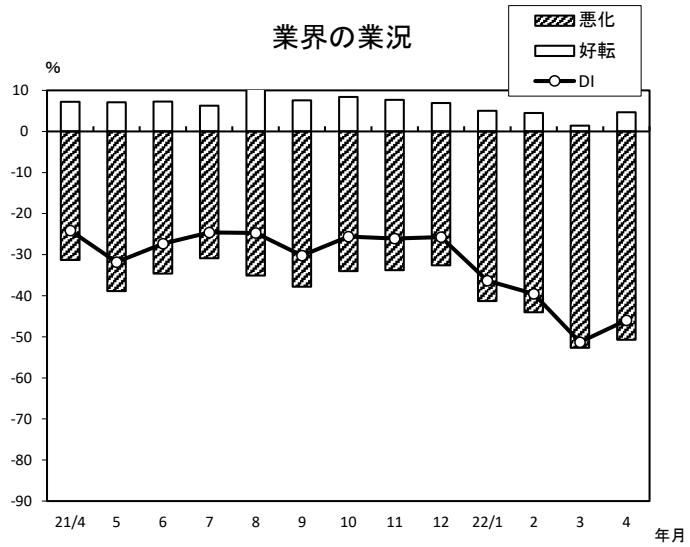
年/月	増加	減少	DI
21/4	9.8	-45.8	-36.0
5	11.5	-41.4	-29.9
6	13.1	-31.0	-17.9
7	12.9	-29.0	-16.1
8	15.9	-31.7	-15.8
9	12.3	-37.8	-25.5
10	18.8	-25.0	-6.2
11	15.1	-27.0	-11.9
12	16.6	-28.5	-11.9
22/1	11.7	-27.4	-15.7
2	12.2	-34.4	-22.2
3	10.5	-31.1	-20.6
4	9.3	-38.2	-28.9



年/月	好転	悪化	DI
21/4	3.4	-37.9	-34.5
5	4.1	-31.5	-27.4
6	4.9	-29.7	-24.8
7	4.1	-25.8	-21.7
8	5.5	-36.8	-31.3
9	3.0	-38.4	-35.4
10	3.6	-31.6	-28.0
11	2.5	-32.6	-30.1
12	2.4	-35.0	-32.6
22/1	2.7	-39.6	-36.9
2	1.3	-39.5	-38.2
3	0.7	-42.2	-41.5
4	1.0	-44.1	-43.1



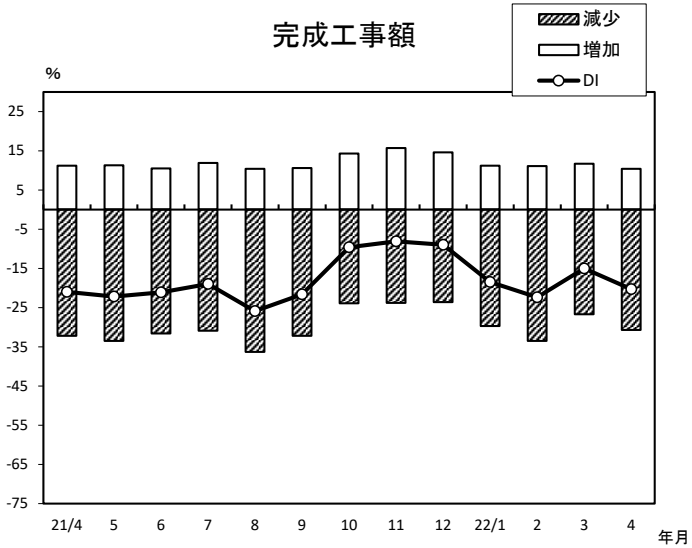
年/月	好転	悪化	DI
21/4	4.6	-41.5	-36.9
5	4.4	-37.7	-33.3
6	7.0	-32.2	-25.2
7	6.7	-30.9	-24.2
8	7.5	-39.7	-32.2
9	4.1	-44.8	-40.7
10	4.2	-37.5	-33.3
11	3.1	-47.3	-44.2
12	3.9	-44.4	-40.5
22/1	3.8	-54.1	-50.3
2	2.9	-49.1	-46.2
3	0.7	-56.6	-55.9
4	1.7	-58.6	-56.9



年/月	好転	悪化	DI
21/4	7.2	-31.3	-24.1
5	7.1	-38.9	-31.8
6	7.3	-34.6	-27.3
7	6.3	-30.9	-24.6
8	10.4	-35.1	-24.7
9	7.6	-37.8	-30.2
10	8.4	-34.0	-25.6
11	7.7	-33.8	-26.1
12	6.9	-32.6	-25.7
22/1	5.0	-41.3	-36.3
2	4.5	-44.0	-39.5
3	1.4	-52.7	-51.3
4	4.7	-50.7	-46.0

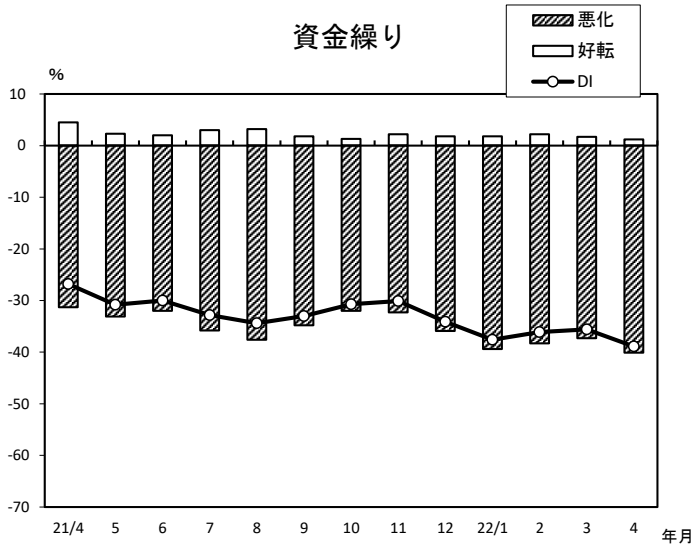
建　設　業(前年同月比)

完成工事額



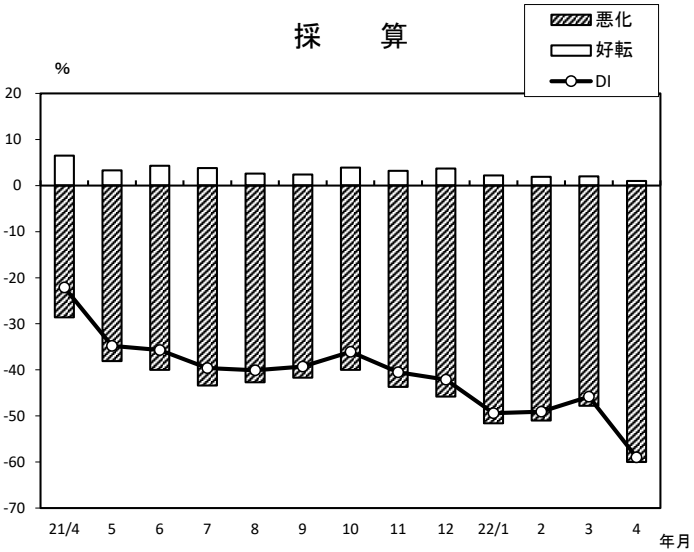
年/月	増加	減少	DI
21/4	11.2	-32.2	-21.0
5	11.3	-33.5	-22.2
6	10.5	-31.6	-21.1
7	11.9	-30.9	-19.0
8	10.4	-36.3	-25.9
9	10.6	-32.2	-21.6
10	14.3	-23.9	-9.6
11	15.7	-23.8	-8.1
12	14.6	-23.6	-9.0
22/1	11.2	-29.7	-18.5
2	11.1	-33.5	-22.4
3	11.7	-26.7	-15.0
4	10.4	-30.7	-20.3

資金繰り



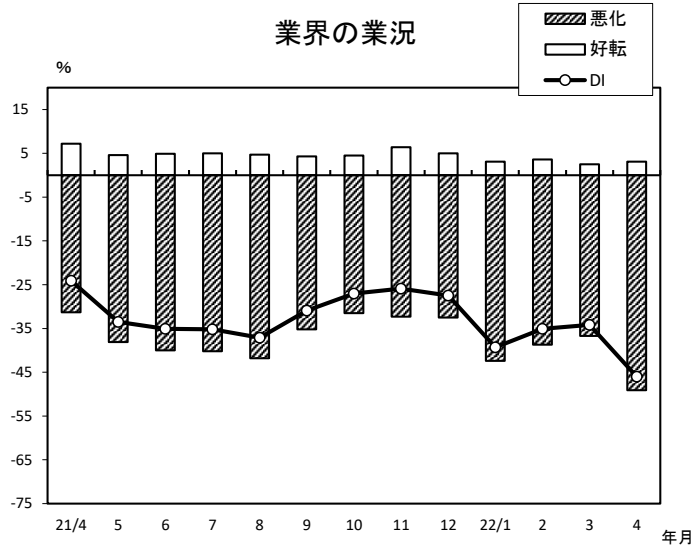
年/月	好転	悪化	DI
21/4	4.5	-31.3	-26.8
5	2.3	-33.1	-30.8
6	2.0	-32.0	-30.0
7	3.0	-35.8	-32.8
8	3.2	-37.6	-34.4
9	1.8	-34.8	-33.0
10	1.3	-32.0	-30.7
11	2.2	-32.3	-30.1
12	1.8	-35.9	-34.1
22/1	1.8	-39.4	-37.6
2	2.2	-38.3	-36.1
3	1.7	-37.3	-35.6
4	1.2	-40.1	-38.9

採　　算



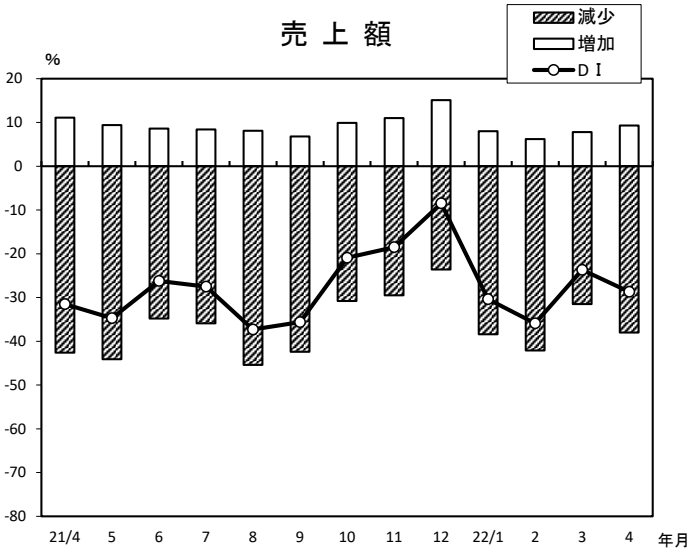
年/月	好転	悪化	DI
21/4	6.5	-28.6	-22.1
5	3.3	-38.1	-34.8
6	4.3	-40.0	-35.7
7	3.8	-43.4	-39.6
8	2.6	-42.7	-40.1
9	2.4	-41.7	-39.3
10	3.9	-40.0	-36.1
11	3.2	-43.7	-40.5
12	3.7	-45.8	-42.1
22/1	2.2	-51.6	-49.4
2	1.9	-51.0	-49.1
3	2.0	-47.8	-45.8
4	1.0	-60.0	-59.0

業界の業況

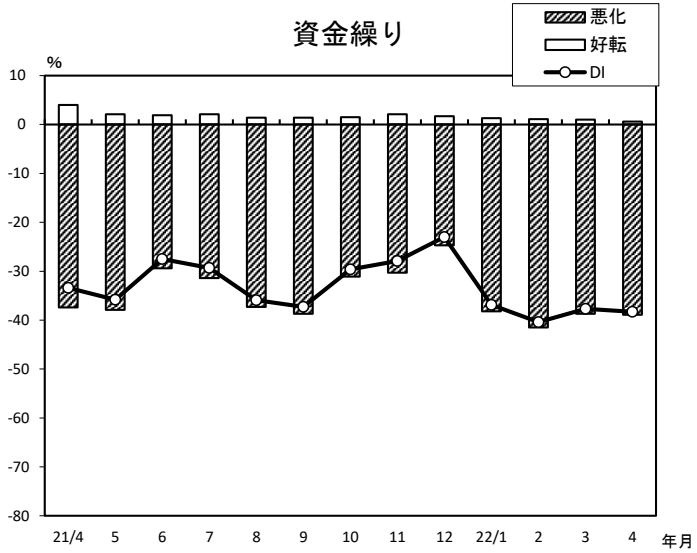


年/月	好転	悪化	DI
21/4	7.2	-31.3	-24.1
5	4.6	-38.1	-33.5
6	4.9	-40.0	-35.1
7	5.0	-40.2	-35.2
8	4.7	-41.8	-37.1
9	4.3	-35.2	-30.9
10	4.5	-31.5	-27.0
11	6.4	-32.3	-25.9
12	5.0	-32.5	-27.5
22/1	3.1	-42.4	-39.3
2	3.6	-38.7	-35.1
3	2.5	-36.7	-34.2
4	3.1	-49.1	-46.0

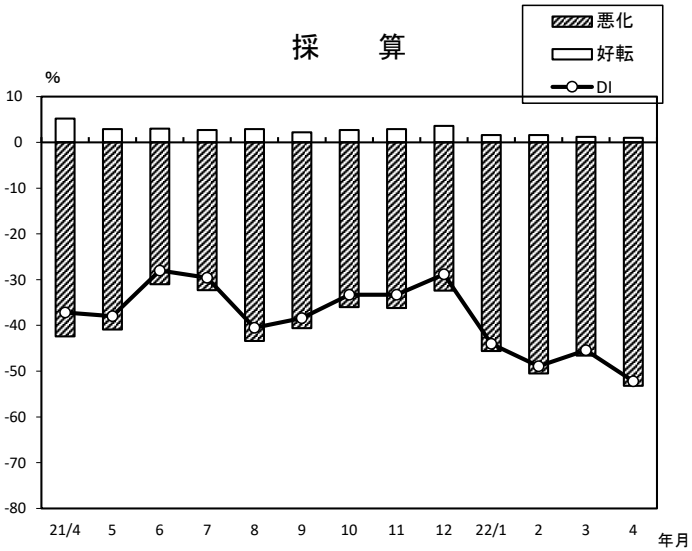
小 売 業(前年同月比)



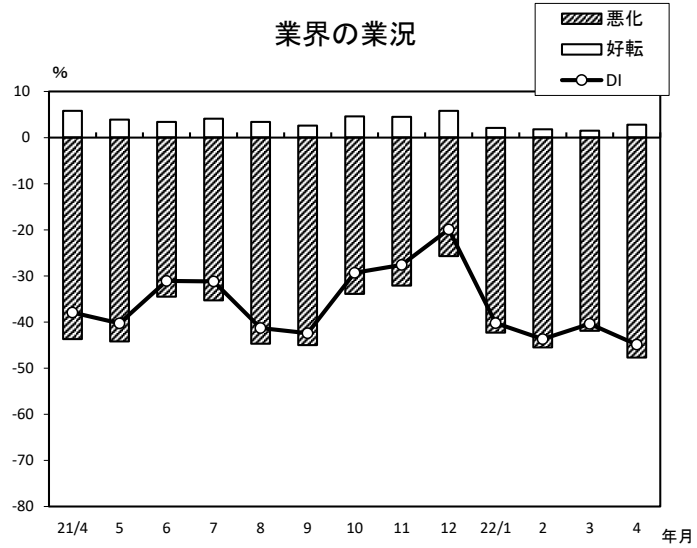
年/月	増加	減少	DI
21/4	11.1	-42.6	-31.5
5	9.4	-44.1	-34.7
6	8.6	-34.8	-26.2
7	8.4	-35.9	-27.5
8	8.1	-45.4	-37.3
9	6.8	-42.4	-35.6
10	9.9	-30.8	-20.9
11	11.0	-29.5	-18.5
12	15.1	-23.6	-8.5
22/1	8.0	-38.4	-30.4
2	6.2	-42.1	-35.9
3	7.8	-31.5	-23.7
4	9.3	-38.0	-28.7



年/月	好転	悪化	DI
21/4	4.0	-37.4	-33.4
5	2.1	-37.9	-35.8
6	1.9	-29.4	-27.5
7	2.1	-31.4	-29.3
8	1.4	-37.3	-35.9
9	1.4	-38.7	-37.3
10	1.5	-31.1	-29.6
11	2.1	-30.3	-27.9
12	1.7	-24.7	-23.0
22/1	1.3	-38.2	-36.9
2	1.1	-41.5	-40.4
3	1.0	-38.7	-37.7
4	0.6	-38.9	-38.3

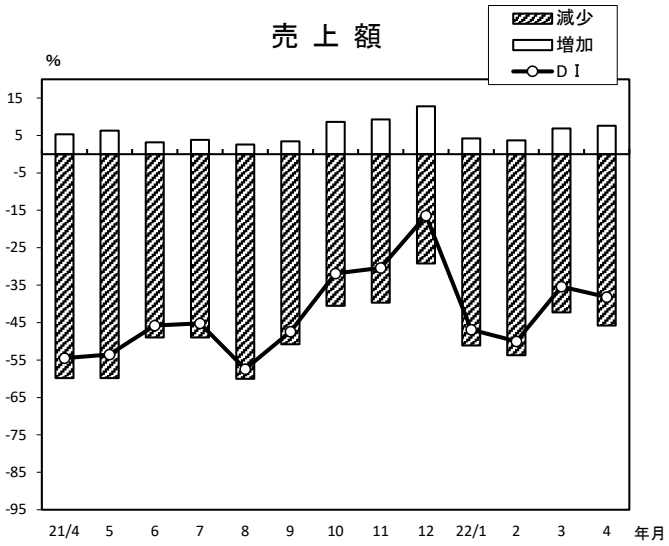


年/月	好転	悪化	DI
21/4	5.2	-42.4	-37.2
5	2.9	-40.9	-38.0
6	3.0	-31.0	-28.0
7	2.7	-32.3	-29.6
8	2.9	-43.4	-40.5
9	2.2	-40.6	-38.4
10	2.7	-36.0	-33.3
11	2.9	-36.2	-33.3
12	3.6	-32.4	-28.8
22/1	1.6	-45.6	-44.0
2	1.6	-50.5	-48.9
3	1.2	-46.6	-45.4
4	1.0	-53.2	-52.2

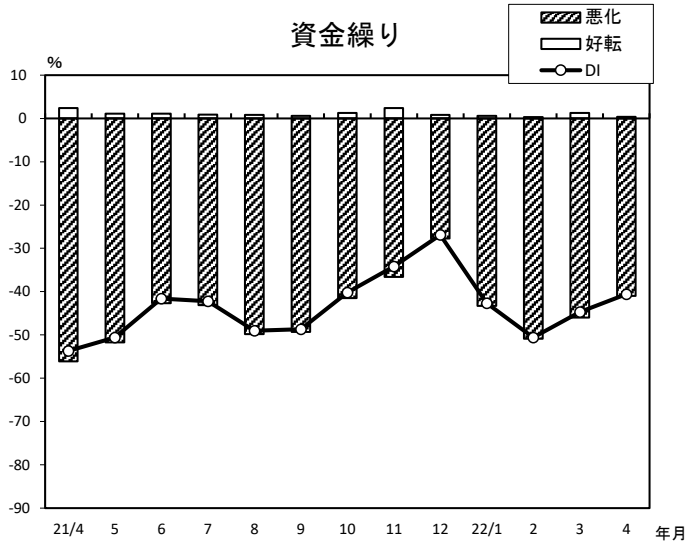


年/月	好転	悪化	DI
21/4	5.8	-43.7	-37.9
5	3.9	-44.2	-40.3
6	3.4	-34.5	-31.1
7	4.1	-35.3	-31.2
8	3.4	-44.7	-41.3
9	2.6	-45.0	-42.4
10	4.6	-33.9	-29.3
11	4.5	-32.1	-27.6
12	5.8	-25.7	-19.9
22/1	2.1	-42.3	-40.2
2	1.8	-45.5	-43.7
3	1.5	-41.9	-40.4
4	2.8	-47.7	-44.9

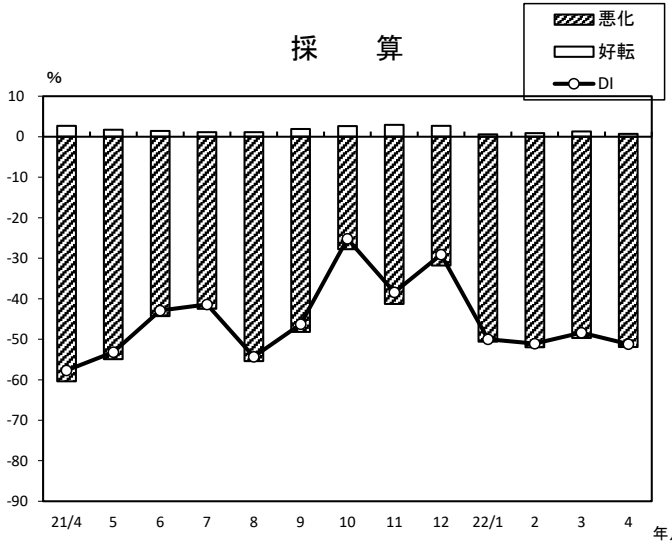
小 売 業【衣料品】（前年同月比）



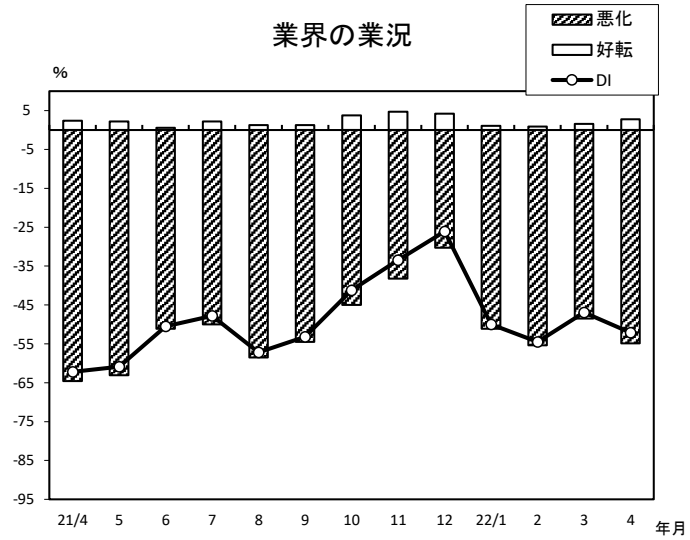
年/月	増加	減少	DI
21/4	5.3	-59.8	-54.5
5	6.3	-59.8	-53.5
6	3.2	-49.0	-45.8
7	3.8	-49.0	-45.2
8	2.6	-60.0	-57.4
9	3.4	-50.8	-47.4
10	8.6	-40.5	-31.9
11	9.3	-39.7	-30.4
12	12.8	-29.2	-16.4
22/1	4.2	-51.1	-46.9
2	3.7	-53.7	-50.0
3	6.9	-42.3	-35.4
4	7.6	-45.8	-38.2



年/月	好転	悪化	DI
21/4	2.4	-56.1	-53.7
5	1.1	-51.7	-50.6
6	1.1	-42.7	-41.6
7	0.9	-43.1	-42.2
8	0.8	-49.8	-49.0
9	0.6	-49.3	-48.7
10	1.3	-41.5	-40.2
11	2.4	-36.6	-34.2
12	0.8	-27.7	-26.9
22/1	0.6	-43.3	-42.7
2	0.3	-50.9	-50.6
3	1.3	-46.0	-44.7
4	0.4	-41.0	-40.6

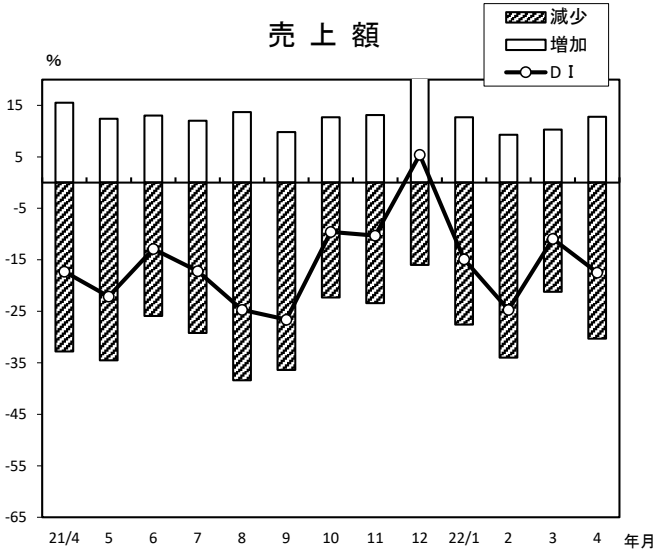


年/月	好転	悪化	DI
21/4	2.7	-60.4	-57.7
5	1.7	-54.9	-53.2
6	1.4	-44.3	-42.9
7	1.1	-42.5	-41.4
8	1.1	-55.4	-54.3
9	1.9	-48.2	-46.3
10	2.6	-27.8	-25.2
11	2.9	-41.3	-38.4
12	2.7	-31.8	-29.1
22/1	0.6	-50.6	-50.0
2	0.9	-52.0	-51.1
3	1.3	-49.7	-48.4
4	0.7	-51.9	-51.2

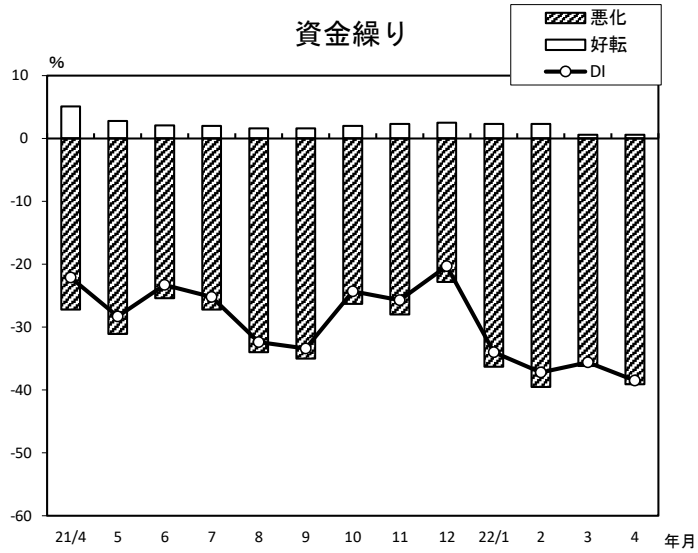


年/月	好転	悪化	DI
21/4	2.4	-64.6	-62.2
5	2.2	-63.1	-60.9
6	0.6	-51.1	-50.5
7	2.2	-50.0	-47.8
8	1.3	-58.5	-57.2
9	1.3	-54.5	-53.2
10	3.8	-45.0	-41.2
11	4.7	-38.2	-33.5
12	4.2	-30.3	-26.1
22/1	1.1	-51.1	-50.0
2	0.9	-55.4	-54.5
3	1.6	-48.5	-46.9
4	2.8	-54.9	-52.1

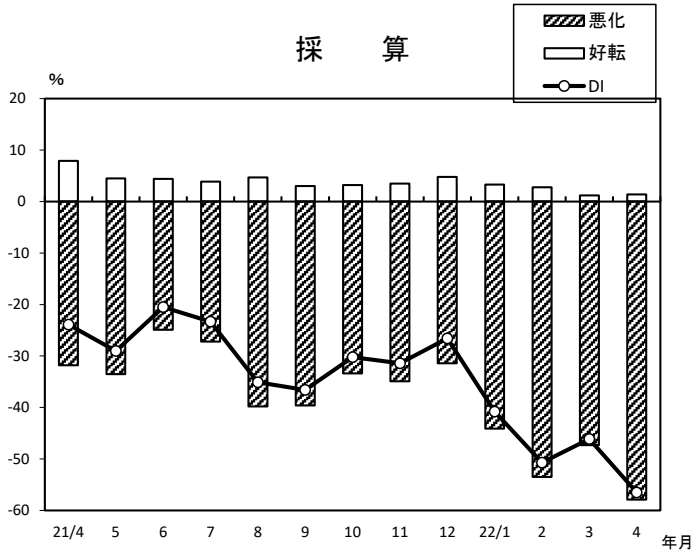
小 売 業【食料品】（前年同月比）



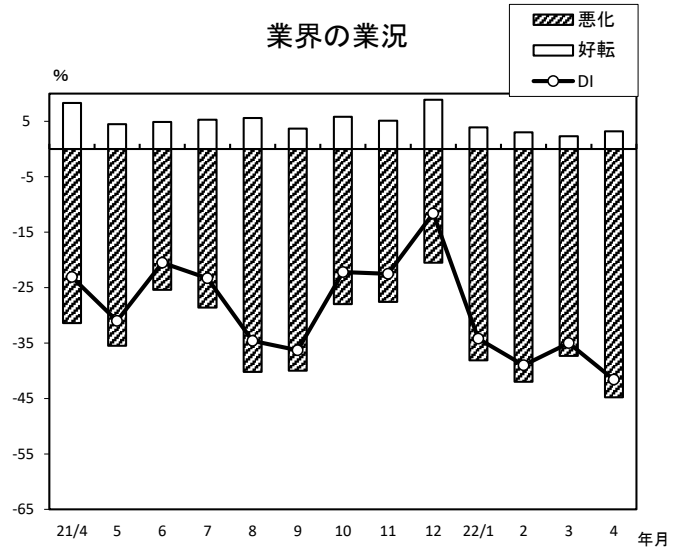
年/月	増加	減少	DI
21/4	15.5	-32.8	-17.3
5	12.4	-34.5	-22.1
6	13.0	-25.9	-12.9
7	12.0	-29.2	-17.2
8	13.7	-38.4	-24.7
9	9.8	-36.4	-26.6
10	12.7	-22.3	-9.6
11	13.1	-23.4	-10.3
12	21.4	-16.0	5.4
22/1	12.7	-27.6	-14.9
2	9.3	-34.0	-24.7
3	10.3	-21.2	-10.9
4	12.8	-30.3	-17.5



年/月	好転	悪化	DI
21/4	5.1	-27.2	-22.1
5	2.8	-31.1	-28.3
6	2.1	-25.4	-23.3
7	2.0	-27.2	-25.2
8	1.6	-34.0	-32.4
9	1.6	-35.0	-33.4
10	2.0	-26.3	-24.3
11	2.3	-28.0	-25.7
12	2.5	-22.8	-20.3
22/1	2.3	-36.3	-34.0
2	2.3	-39.5	-37.2
3	0.6	-36.2	-35.6
4	0.6	-39.1	-38.5

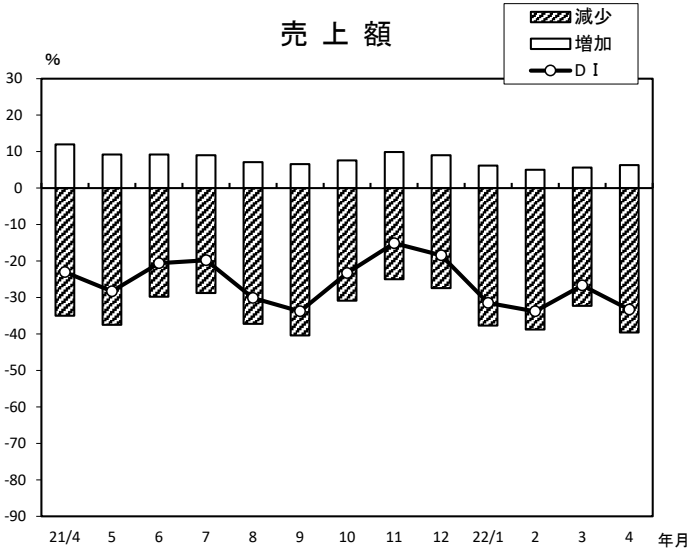


年/月	好転	悪化	DI
21/4	7.9	-31.8	-23.9
5	4.5	-33.5	-29.0
6	4.4	-24.9	-20.5
7	3.9	-27.2	-23.3
8	4.7	-39.8	-35.1
9	3.0	-39.6	-36.6
10	3.2	-33.4	-30.2
11	3.5	-34.9	-31.4
12	4.8	-31.4	-26.6
22/1	3.3	-44.1	-40.8
2	2.8	-53.5	-50.7
3	1.2	-47.3	-46.1
4	1.4	-57.9	-56.5

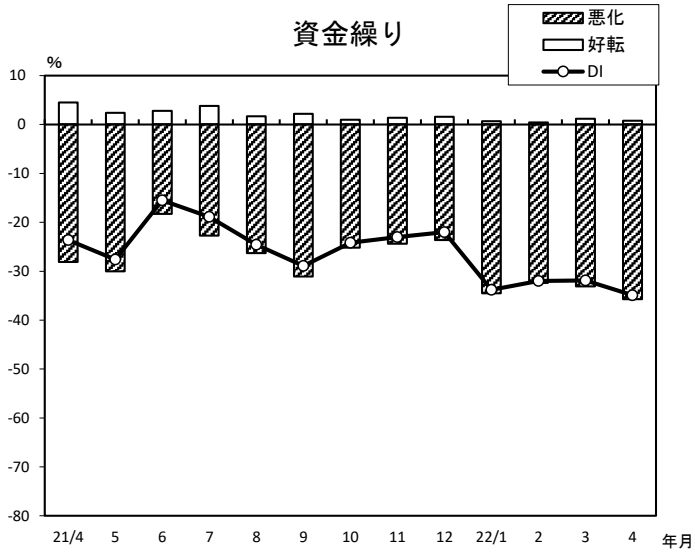


年/月	好転	悪化	DI
21/4	8.3	-31.4	-23.1
5	4.5	-35.5	-31.0
6	4.9	-25.4	-20.5
7	5.3	-28.6	-23.3
8	5.6	-40.2	-34.6
9	3.7	-40.0	-36.3
10	5.8	-28.0	-22.2
11	5.1	-27.6	-22.5
12	8.9	-20.5	-11.6
22/1	3.9	-38.1	-34.2
2	3.0	-42.0	-39.0
3	2.3	-37.3	-35.0
4	3.2	-44.8	-41.6

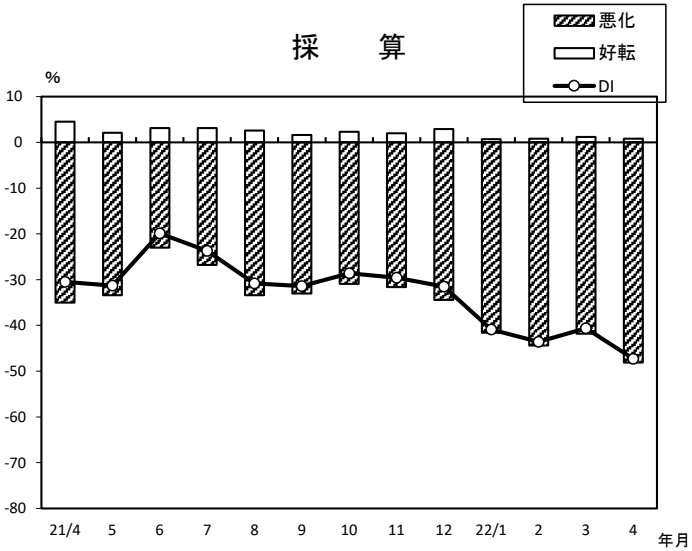
小 売 業【耐久消費財】（前年同月比）



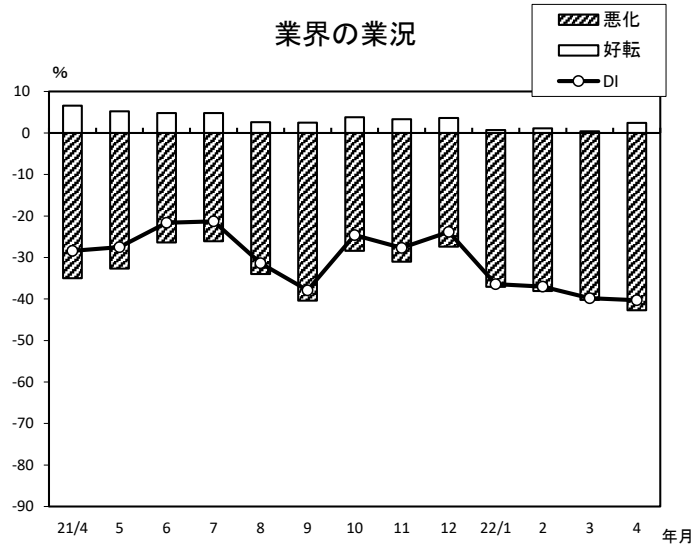
年/月	増加	減少	DI
21/4	12.0	−35.0	−23.0
5	9.2	−37.5	−28.3
6	9.2	−29.8	−20.6
7	9.0	−28.8	−19.8
8	7.1	−37.2	−30.1
9	6.6	−40.4	−33.8
10	7.6	−30.9	−23.3
11	9.9	−25.0	−15.1
12	9.0	−27.4	−18.4
22/1	6.2	−37.7	−31.5
2	5.0	−38.8	−33.8
3	5.6	−32.3	−26.7
4	6.3	−39.6	−33.3



年/月	好転	悪化	DI
21/4	4.5	−28.1	−23.6
5	2.4	−30.0	−27.6
6	2.8	−18.3	−15.5
7	3.8	−22.7	−18.9
8	1.7	−26.3	−24.6
9	2.2	−31.1	−28.9
10	1.0	−25.2	−24.2
11	1.4	−24.4	−23.0
12	1.6	−23.6	−22.0
22/1	0.7	−34.5	−33.8
2	0.4	−32.4	−32.0
3	1.2	−33.1	−31.9
4	0.8	−35.7	−34.9

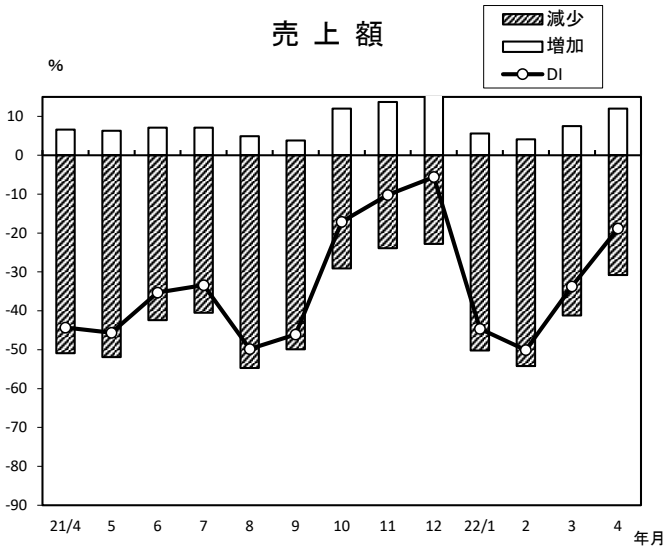


年/月	好転	悪化	DI
21/4	4.5	−35.0	−30.5
5	2.1	−33.4	−31.3
6	3.1	−23.0	−19.9
7	3.1	−26.8	−23.7
8	2.6	−33.4	−30.8
9	1.6	−33.0	−31.4
10	2.3	−30.9	−28.6
11	2.0	−31.6	−29.6
12	2.9	−34.4	−31.5
22/1	0.7	−41.6	−40.9
2	0.8	−44.4	−43.6
3	1.2	−41.8	−40.6
4	0.8	−48.1	−47.3

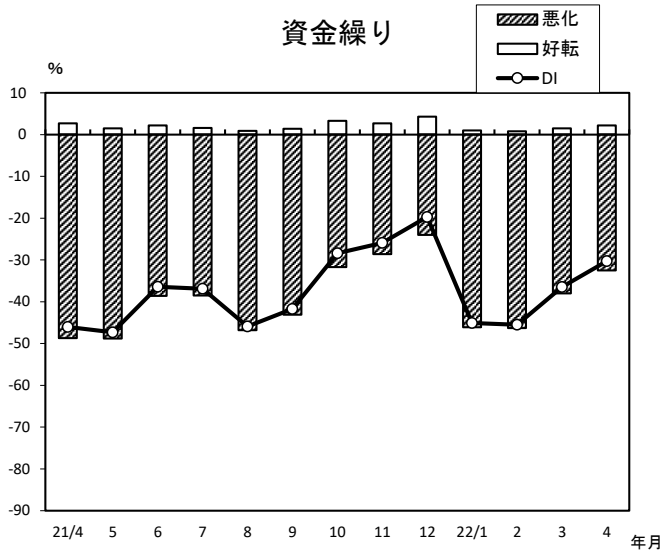


年/月	好転	悪化	DI
21/4	6.6	−35.0	−28.4
5	5.2	−32.7	−27.5
6	4.8	−26.4	−21.6
7	4.8	−26.1	−21.3
8	2.6	−34.0	−31.4
9	2.5	−40.4	−37.9
10	3.8	−28.4	−24.6
11	3.3	−31.0	−27.7
12	3.6	−27.4	−23.8
22/1	0.7	−37.1	−36.4
2	1.1	−38.1	−37.0
3	0.4	−40.2	−39.8
4	2.4	−42.7	−40.3

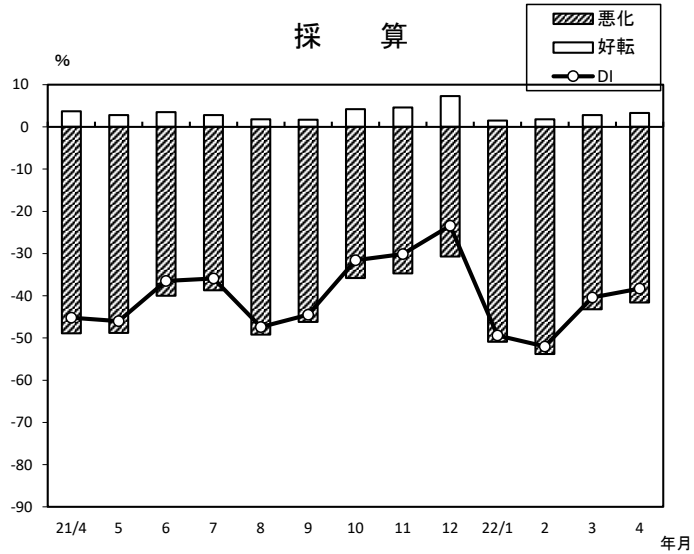
サービス業（前年同月比）



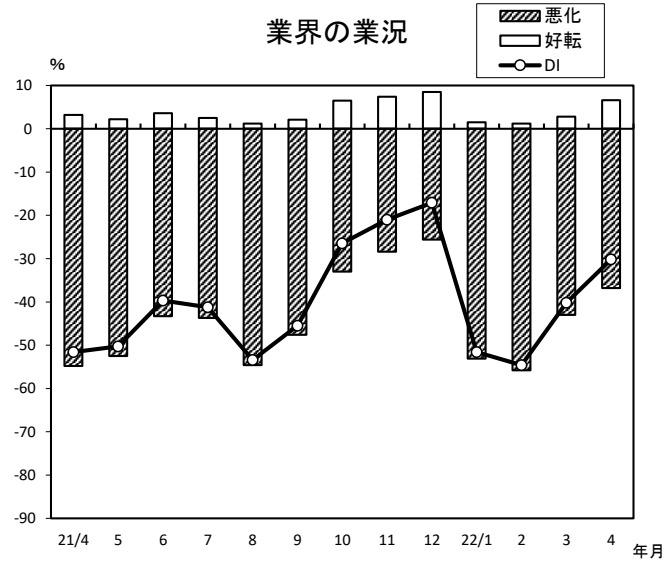
年/月	増加	減少	DI
21/4	6.6	−50.9	−44.3
5	6.3	−51.9	−45.6
6	7.1	−42.4	−35.3
7	7.1	−40.5	−33.4
8	4.9	−54.7	−49.8
9	3.8	−49.9	−46.1
10	12.0	−29.1	−17.1
11	13.7	−23.9	−10.2
12	17.2	−22.8	−5.6
22/1	5.6	−50.2	−44.6
2	4.1	−54.2	−50.1
3	7.5	−41.2	−33.7
4	12.0	−30.8	−18.8



年/月	好転	悪化	DI
21/4	2.7	−48.7	−46.0
5	1.5	−48.8	−47.3
6	2.2	−38.6	−36.4
7	1.6	−38.5	−36.9
8	0.9	−46.8	−45.9
9	1.4	−43.1	−41.7
10	3.3	−31.7	−28.4
11	2.7	−28.6	−25.9
12	4.3	−24.0	−19.7
22/1	1.0	−46.1	−45.1
2	0.8	−46.3	−45.5
3	1.5	−38.0	−36.5
4	2.2	−32.5	−30.3

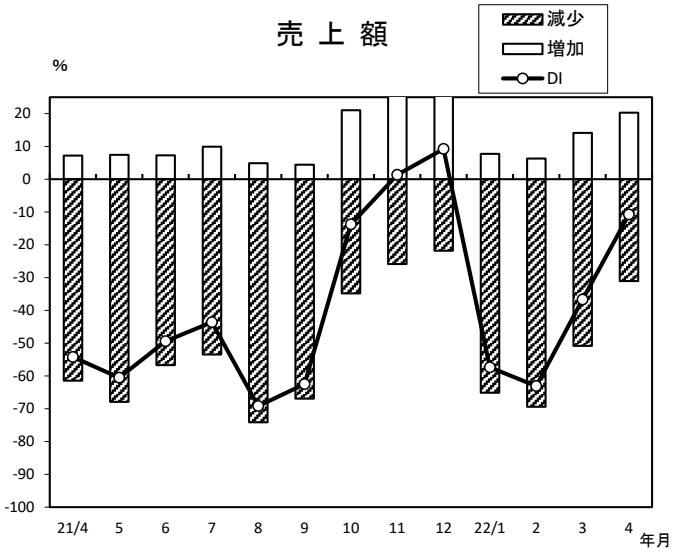


年/月	好転	悪化	DI
21/4	3.7	−48.9	−45.2
5	2.8	−48.8	−46.0
6	3.5	−40.0	−36.5
7	2.8	−38.7	−35.9
8	1.8	−49.2	−47.4
9	1.7	−46.2	−44.5
10	4.2	−35.8	−31.6
11	4.6	−34.7	−30.1
12	7.3	−30.7	−23.4
22/1	1.5	−50.9	−49.4
2	1.8	−53.8	−52.0
3	2.8	−43.2	−40.4
4	3.3	−41.6	−38.3

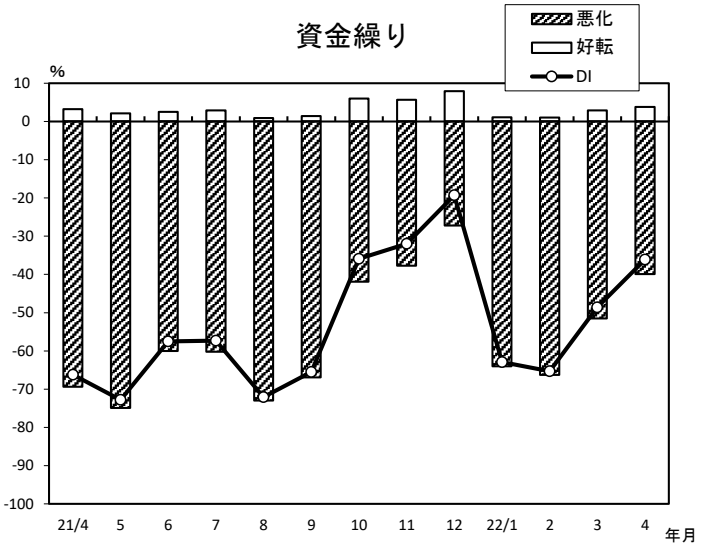


年/月	好転	悪化	DI
21/4	3.2	−54.8	−51.6
5	2.2	−52.5	−50.3
6	3.6	−43.3	−39.7
7	2.5	−43.7	−41.2
8	1.2	−54.6	−53.4
9	2.1	−47.6	−45.5
10	6.5	−33.0	−26.5
11	7.4	−28.4	−21.0
12	8.5	−25.6	−17.1
22/1	1.5	−53.1	−51.6
2	1.2	−55.8	−54.6
3	2.8	−43.0	−40.2
4	6.6	−36.8	−30.2

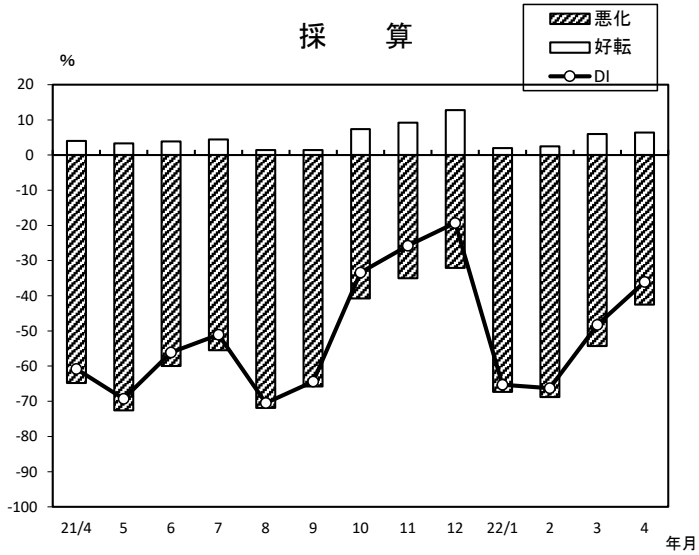
サービス業【旅館】（前年同月比）



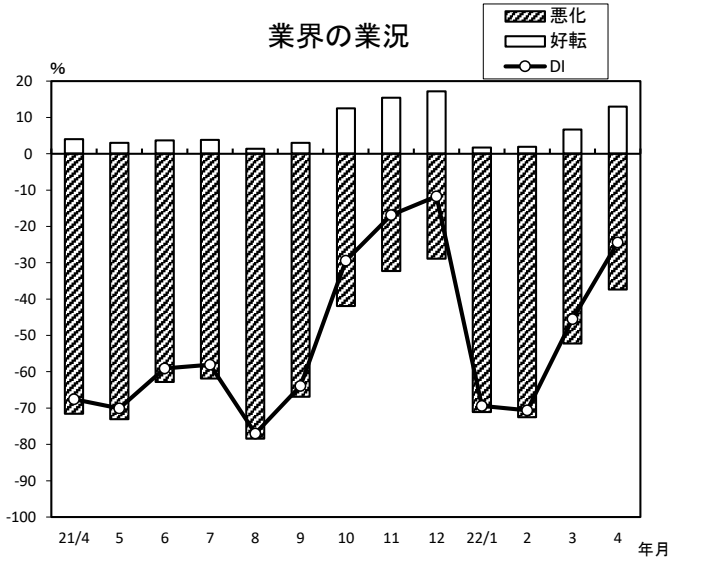
年/月	増加	減少	DI
21/4	7.2	-61.4	-54.2
5	7.4	-67.9	-60.5
6	7.3	-56.7	-49.4
7	9.9	-53.5	-43.6
8	4.9	-74.1	-69.2
9	4.4	-66.9	-62.5
10	21.0	-34.8	-13.8
11	27.2	-25.9	1.3
12	31.0	-21.8	9.2
22/1	7.7	-65.1	-57.4
2	6.3	-69.4	-63.1
3	14.1	-50.8	-36.7
4	20.3	-31.1	-10.8



年/月	好転	悪化	DI
21/4	3.2	-69.4	-66.2
5	2.1	-74.9	-72.8
6	2.5	-60.0	-57.5
7	2.9	-60.2	-57.3
8	0.9	-73.0	-72.1
9	1.4	-66.9	-65.5
10	6.0	-41.9	-35.9
11	5.7	-37.7	-32.0
12	7.9	-27.2	-19.3
22/1	1.1	-64.0	-62.9
2	1.0	-66.3	-65.3
3	2.9	-51.5	-48.6
4	3.8	-39.9	-36.1

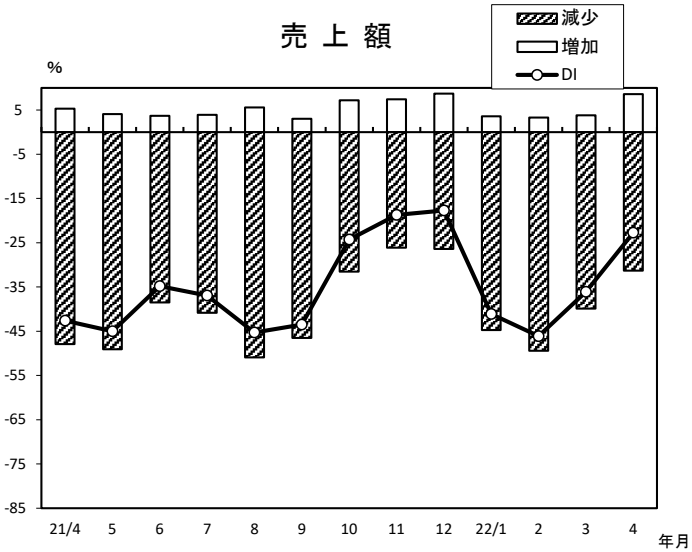


年/月	好転	悪化	DI
21/4	4.0	-64.8	-60.8
5	3.3	-72.6	-69.3
6	3.9	-60.0	-56.1
7	4.4	-55.5	-51.1
8	1.4	-71.9	-70.5
9	1.4	-65.8	-64.4
10	7.4	-40.8	-33.4
11	9.2	-35.0	-25.8
12	12.8	-32.1	-19.3
22/1	2.0	-67.3	-65.3
2	2.5	-68.8	-66.3
3	6.0	-54.3	-48.3
4	6.4	-42.5	-36.1

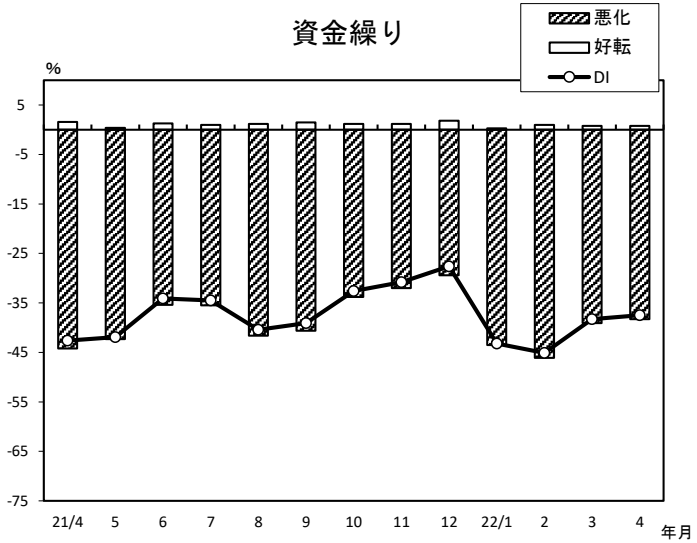


年/月	好転	悪化	DI
21/4	4.0	-71.6	-67.6
5	3.0	-73.1	-70.1
6	3.7	-62.8	-59.1
7	3.8	-61.9	-58.1
8	1.4	-78.4	-77.0
9	3.0	-66.9	-63.9
10	12.5	-41.9	-29.4
11	15.4	-32.3	-16.9
12	17.2	-28.9	-11.7
22/1	1.7	-71.1	-69.4
2	1.9	-72.5	-70.6
3	6.7	-52.2	-45.5
4	13.0	-37.4	-24.4

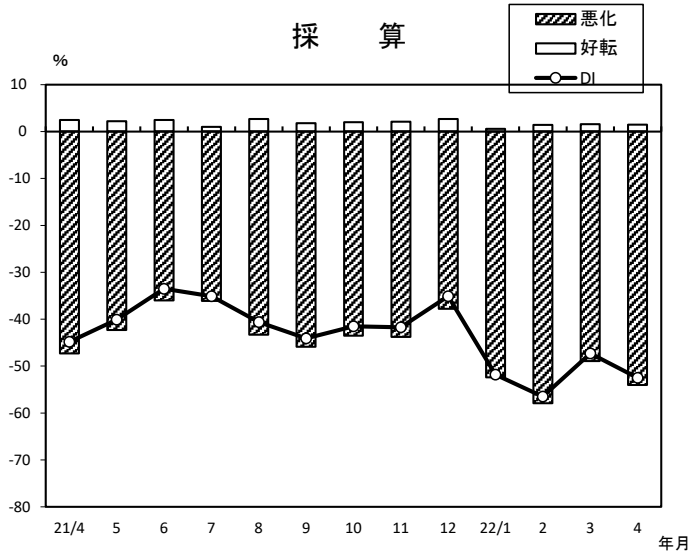
サービス業【クリーニング】（前年同月比）



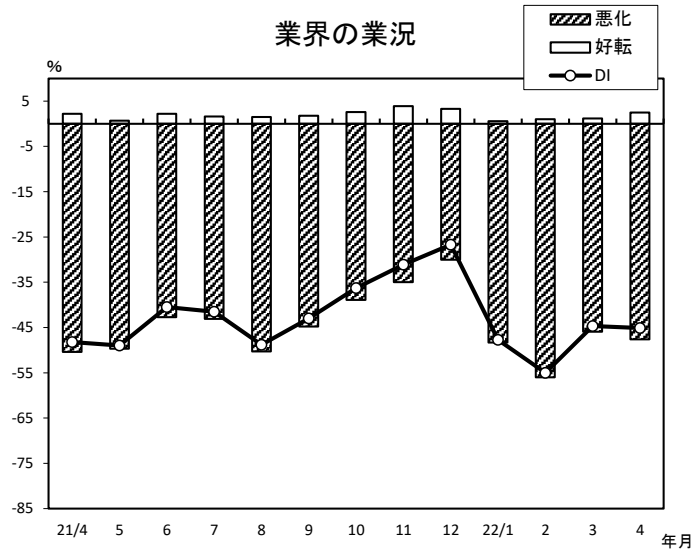
年/月	増加	減少	DI
21/4	5.3	−47.9	−42.6
5	4.1	−49.1	−45.0
6	3.7	−38.5	−34.8
7	3.9	−40.8	−36.9
8	5.6	−50.9	−45.3
9	3.0	−46.5	−43.5
10	7.2	−31.5	−24.3
11	7.4	−26.1	−18.7
12	8.7	−26.4	−17.7
22/1	3.6	−44.7	−41.1
2	3.3	−49.4	−46.1
3	3.8	−39.9	−36.1
4	8.6	−31.3	−22.7



年/月	好転	悪化	DI
21/4	1.6	−44.2	−42.6
5	0.4	−42.3	−41.9
6	1.3	−35.4	−34.1
7	1.0	−35.5	−34.5
8	1.2	−41.6	−40.4
9	1.5	−40.6	−39.1
10	1.2	−33.8	−32.6
11	1.2	−32.0	−30.8
12	1.8	−29.4	−27.6
22/1	0.3	−43.5	−43.2
2	1.0	−46.1	−45.1
3	0.8	−39.1	−38.3
4	0.8	−38.3	−37.5

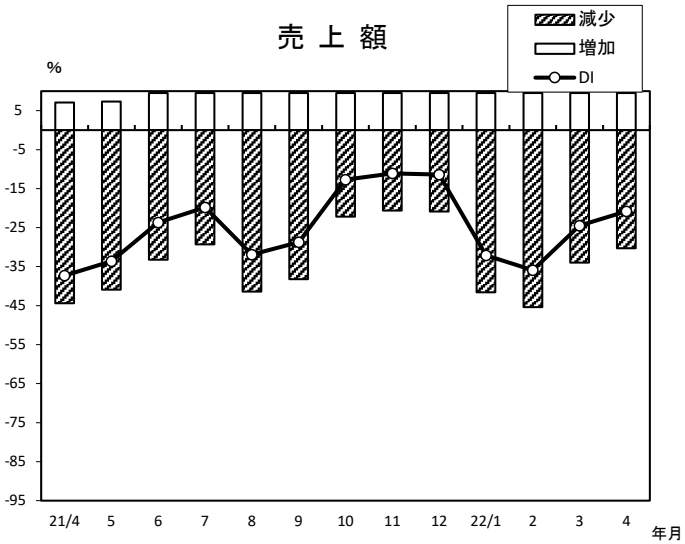


年/月	好転	悪化	DI
21/4	2.5	−47.3	−44.8
5	2.2	−42.3	−40.1
6	2.5	−36.0	−33.5
7	1.0	−36.1	−35.1
8	2.7	−43.3	−40.6
9	1.8	−45.9	−44.1
10	2.0	−43.5	−41.5
11	2.1	−43.8	−41.7
12	2.7	−37.8	−35.1
22/1	0.6	−52.4	−51.8
2	1.4	−57.9	−56.5
3	1.6	−48.9	−47.3
4	1.5	−54.0	−52.5

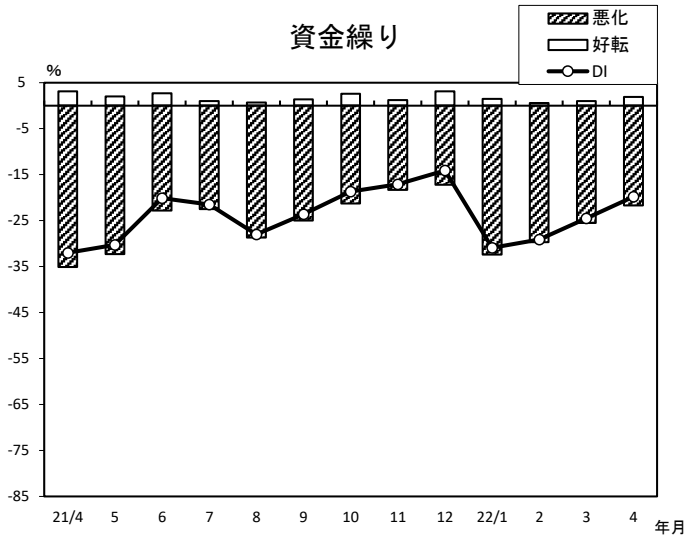


年/月	好転	悪化	DI
21/4	2.2	−50.4	−48.2
5	0.7	−49.7	−49.0
6	2.2	−42.7	−40.5
7	1.6	−43.1	−41.5
8	1.5	−50.3	−48.8
9	1.8	−44.8	−43.0
10	2.6	−38.9	−36.3
11	3.9	−35.0	−31.1
12	3.3	−30.0	−26.7
22/1	0.6	−48.3	−47.7
2	1.0	−56.0	−55.0
3	1.2	−45.9	−44.7
4	2.5	−47.6	−45.1

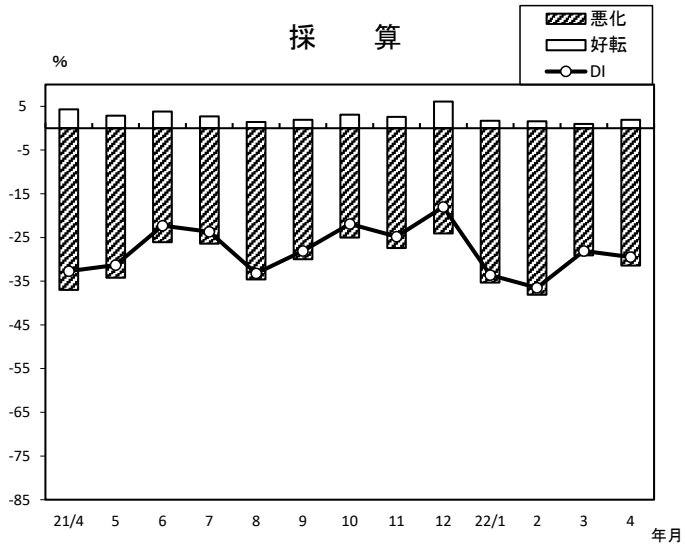
サービス業【理･美容】（前年同月比）



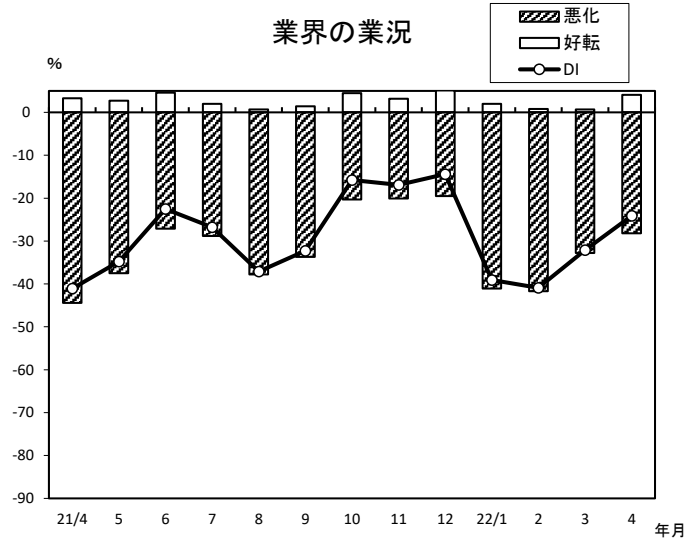
年/月	増加	減少	DI
21/4	7.1	−44.4	−37.3
5	7.3	−40.9	−33.6
6	9.5	−33.2	−23.7
7	9.5	−29.3	−19.8
8	9.5	−41.4	−31.9
9	9.5	−38.2	−28.7
10	9.5	−22.2	−12.7
11	9.5	−20.6	−11.1
12	9.5	−20.9	−11.4
22/1	9.5	−41.6	−32.1
2	9.5	−45.4	−35.9
3	9.5	−34.0	−24.5
4	9.5	−30.3	−20.8



年/月	好転	悪化	DI
21/4	3.1	−35.1	−32.0
5	2.0	−32.3	−30.3
6	2.7	−22.8	−20.1
7	1.0	−22.5	−21.5
8	0.7	−28.7	−28.0
9	1.4	−25.0	−23.6
10	2.6	−21.3	−18.7
11	1.2	−18.3	−17.1
12	3.1	−17.2	−14.1
22/1	1.5	−32.4	−30.9
2	0.6	−29.7	−29.1
3	1.0	−25.5	−24.5
4	1.9	−21.7	−19.8



年/月	好転	悪化	DI
21/4	4.3	−37.0	−32.7
5	2.9	−34.2	−31.3
6	3.8	−26.1	−22.3
7	2.7	−26.4	−23.7
8	1.4	−34.6	−33.2
9	1.9	−30.0	−28.1
10	3.1	−25.0	−21.9
11	2.6	−27.4	−24.8
12	6.1	−24.1	−18.0
22/1	1.7	−35.3	−33.6
2	1.6	−38.1	−36.5
3	1.0	−29.1	−28.1
4	1.9	−31.4	−29.5



年/月	好転	悪化	DI
21/4	3.3	−44.4	−41.1
5	2.7	−37.5	−34.8
6	4.6	−27.1	−22.5
7	2.0	−28.8	−26.8
8	0.7	−37.8	−37.1
9	1.4	−33.7	−32.3
10	4.5	−20.3	−15.8
11	3.2	−20.1	−16.9
12	5.1	−19.5	−14.4
22/1	2.0	−41.1	−39.1
2	0.8	−41.7	−40.9
3	0.7	−32.8	−32.1
4	4.1	−28.2	−24.1

小規模企業景気動向調査（4月期）における商工会経営指導員の主なコメント

＊コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

＜改善傾向を示すコメント＞

観光関連では長引く新型コロナの影響下ではあるが、今回、連休があり規制の緩みもあり天候次第で、売上の回復も期待できる。

（能勢町商工会）

コロナ感染症の影響については、一部に弱さがあるものの、全体的に持ち直しつつある。飲食・宿泊・旅客業者を中心に影響が尾を引く。建築資材や金属、石油製品をはじめ食材まで価格高騰しており、全ての原材料が連鎖して幅広の業種に影響あり。需要、受注引合が充分あるものの利益は圧迫されている。

（雲南市商工会）

全体的な業況の改善は見受けられるが、食料品関係等の仕入単価高騰に対応が難しい業種に関しては、限定的な改善もしくは、悪化している事業者もある。また、地域特性として燃料費高騰の影響は、多くの事業者で見られるため、引き続き注視が必要。

（玖珠町商工会）

＜悪化傾向を示すコメント＞

コロナ、ロシアウクライナ問題など海外情勢に左右される原材料、資材を扱う業種は4月以降厳しさが増しているようだ。特に、建築、内装、一部設備を扱う事業者は仕入れ価格上昇と品薄による仕入ができない状況が続くと懸念している。他の業種は、コロナの影響はあるものの前年より人流がありポジティブ。

（小平町商工会）

ロシア・ウクライナ戦争による景気の悪化、また新型コロナウイルス感染症の影響により個人消費は落ち込む中、国等の消費刺激策・減税・低利融資・補助金など、事業継続のための支援を求める声は多い。

（青森市浪岡商工会）

３月に比べると飲食業の景況はよいものの、コロナ以前の状況には程遠い。観光業の回復に伴い、飲食、その他関連事業も回復が見込まれる。

（みやぎ北上商工会 登米）

新型コロナの感染者数が秋田県過去最多を記録するなど感染状況が著しく悪化しており、それに合わせて外出を自粛するムードが高まり、飲食店を中心に利用が減少している。重ねて、燃料費や資材等の高騰により、価格に転嫁できていない事業者は利益の圧迫、資金繰りの悪化が懸念される。事業復活支援金や各種施策の活用相談も依然として多くみられることから、今後の状況を注視しながら引き続き必要な支援を実施したい。

（かづの商工会）

全体について言えることは原価が高騰しているが転嫁ができていない状況で大変厳しい資金繰りを強いられており支援金で食いつないでいる状況です。

（内郷商工会）

新しい取り組みを積極的に行っている事業所は売り上げ上昇をしているところもあるが、特に新しい取り組みを行っていない事業所については軒並み売り上げが減少している。

（坂戸市商工会）

ロシアのウクライナ侵攻による経済活動への影響を懸念する声が多い。感染拡大を何度か経て新型コロナウイルスとの付き合い方にも慣れがでてきており、集団での飲食への抵抗感は若干残るものの通常通りの生活に戻りつつある。メディアの情報発信の仕方による影響も強いと感じる。

（富山市八尾山田商工会）

原油高・物価高騰による仕入単価の上昇が生じているが、消費者の低価格・節約志向は変わっていないため、事業者は価格転嫁ができていない。業種によって売上額等の昨年同月比が「不変」「やや増加」となったところもあったが、観光地である当地域では、コロナ禍の令和３年の売上減少が顕著であったためであり、コロナ禍前の景気にはまだまだ程遠い状況である。

（山ノ内町商工会）

都市部ではプロ野球観戦の入場制限が無くなったりとウィズコロナ路線が進んでいると感じるが、地方ではまだまだコロナ禍の自粛モードが根強い。飲食観光業だけでなく、特に人と対面、接触しなければ成り立たない業種（例理美容、楽器店など）は非常に苦戦している。コロナ対応融資の据置きもそろそろ元本返済が始まる頃であり、原油高騰などの影響もあってこれから経営が非常に厳しくなる事業者が多くなると予想する。

（宍粟市商工会）

コロナの影響はまだあるものの、徐々に回復傾向にあるが、社会情勢による仕入単価の上昇等で、利益としては厳しい状況に変わりはない。コロナの感染者が増え続けている現状で、まん防や緊急事態宣言などが発令された場合は、更に厳しい状況に陥る可能性がある。

（与那原町商工会）

2. 製造業

＜改善傾向を示すコメント＞

道の駅など観光流入客増がある程度みえ、前年より商品の動きがよいと感じているが、ガソリン高など今後に多少の不安を持っている。

（小平町商工会）

食料品製造は原材料、光熱費の影響はあるものの売上は回復基調にある。機械部品加工業は一部国内回帰の動きか売上は夏頃までは安定した受注の見込があるとのこと。資材値上げの動きもあるため不安感は拭いきれない。

（富山市八尾山田商工会）

＜悪化傾向を示すコメント＞

食品関連の注文は昨年以上となっているが、原材料の多くが価格高騰となり、利益が出にくい状況。来月以降、商品価格の値上げを行う予定。繊維工業関連は前年同月に比べると売上は変わらないものの、原油価格高騰や光熱費の値上がりなどにより支出が増加傾向にありやや厳しくなってきている。機械・金属関連は半導体関連の下請けのため受注及び売上は前年比よりもプラスで推移。納期や製品精度への要望も高まっているため安易に量産できず、受注制限をかけるケースもある。小規模事業所のため新たな投資は考えておらず、新たな雇用も考えていない。

（由利本荘市商工会）

業績不振につき雇用を縮小した。

（大玉村商工会）

パン製造関連の事業者は小麦価格の上昇の影響を受け採算性が悪化傾向にある。

（龍ケ崎市商工会）

陶器製造業では、3年ぶりにゴールデンウイークに陶器市開催となり、売り上げ増加を見込み、大量生産の動き。ただし、ガス窯、灯油窯等での製造のため、原油高騰の影響は大きい。機械製造業では、材料の高騰の影響が大きい。段ボール製品製造業でも材料費が高騰し利益幅が減少している。

（益子町商工会）

製造関連の事業者は、売上は回復に向かっているものの、仕入単価、資材関連、燃料費が上昇しており、厳しい状況。顧客に価格改定の案内をした後に、サプライヤーから更なる価格改定があるなど、価格転嫁が非常に難しい状況。夏に向けて、電気代の高騰も不安要素になっている。

（宝達志水町商工会）

ウクライナ情勢や原材料費の高騰で製造コストが従来より約20%増加している。企業努力で何とか売価への転嫁はしていないが、今後さらに原材料費が高騰すれば値上げも視野に入れている状況である。取引先への丁寧な説明が求められている。

（備前東商工会 吉永支所）

食料品製造業は人の流れが前年より回復し、飲食店や土産物屋卸しが増加。また、ネット販売やスーパー卸しについては依然として好調である。その結果、売上は増加。しかし、コロナやウクライナ情勢により原材料費が高騰しており利益率は悪化傾向。

（日田地区商工会 大山支所）

半導体不足による商品の遅れと不足運賃の高騰。コロナによる人員不足の対応が困難（濃厚接触者による休業者がでるため）

（掛川みなみ 大須賀）

木材を扱う事業者は、昨年のウッドショックにより木材の仕入れが困難になったことや仕入れることが出来ても木材の仕入れ値が従来の3倍近くなる等厳しい状況が続いている。あわせて、今般のウクライナ情勢の影響により原材料や原油高により収益性の悪化が見受けられる。

（佐賀市南商工会）

機械部品製造業では、大手メーカーの生産調整の影響が引き続いているため受注額も大幅減少している。更に、オイルや金属製品、輸送費、人件費、光熱費など営業にかかる全ての経費が日ごとに値上がりしており、見積作成時の有効期限を1週間とせざるを得ないほど逼迫している状況。この状況が変わる見通しが立たないため、自社主導でできる商品開発や取組を模索しているところである。

（神埼市商工会）

3. 建設業

＜改善傾向を示すコメント＞

豪雨災害以降は、公共工事も堅調である一方で、下請けの利益構造が圧迫される傾向にある。大雨の影響などで、リフォーム需要は、堅調である。

（呉広域商工会）

公共工事を中心とした建設事業者は引き続き災害復旧工事を受注し好調、作業が追い付いていない状況である。

（安芸高田市商工会）

＜悪化傾向を示すコメント＞

建築資材が高騰しており、従来の見積金額より高くなってしまうことから、発注の見合わせがあり厳しい。土木は例年4月は発注がない時期であり前年並みに推移。

（小平町商工会）

建設資材等の値上がりが続き、価格転嫁に苦慮している。

（五戸町商工会）

建築工事が徐々に増えてきており、回復傾向にあるが、新型コロナウイルスの影響とウクライナ紛争による原油の高騰により、支出が増加しており、今後の資金繰りに影響が出ると思われる。

（白神八峰商工会）

長引く新型コロナウイルス感染症の影響に加え、ウクライナ情勢の影響に伴い、特に水回り品等の建設資材に関しては、入荷が大幅に遅れている状況が継続している。平均して最低でも2～3ヶ月待ちとのことであった。また、建設資材の単価も上昇しており、物によっては単価が倍になっているものもあるとのこと。

（会津美里町商工会）

行政は未だにコロナ対応に負われており公共工事に割り当てる予算が減少した。その影響により、市内の公共工事を行っている建設業は仕事の本数が減少している。

（坂戸市商工会）

建設関連について、個人及び官公庁需要があり、市場は動いている。しかし、ウッドショックから始まる原材料価格の高騰に加え、ウクライナの情勢不安を起点とした世界情勢の悪化に伴う更なる原材料価格の高騰、燃料コストの増加を受け、採算が悪化している。

（畑野商工会）

木材関係（合板等）の材料が値上がりしている。ロシアのウクライナ進攻で制裁が関係していると思われる。また設備関係では新型コロナの影響での半導体不足が原因と思われるが商品の仕入が入ってこない。

（能勢町商工会）

公共事業を中心に行っている建設業では、コンクリートなどの資材の値上がりが徐々に影響してきており、採算が取れない工事も今後出てくる恐れがある。一方で、別事業で取り組んでいるキャンプ用品の製造・小売がキャンプ需要の増加により注目されており、新事業として力を更に入れていくことも検討している。

（神埼市商工会）

災害復旧特需により、受注は増加しているが、原材料は確実に上がっている。

（多良木町商工会）

受注工事はあるが人手不足は継続している。

（南九州市商工会）

R3.7月豪雨災害の復旧工事が始まり、忙しくなりつつある。原材料高騰については、契約済みのものは工事代金の変更ができないため、利益減少に直結する。

（中部商工会産業支援センター）

材料仕入高が増えたり、材料、資材の納期が遅れるなどお客様との当初見積金額より多大に経費がかかるなどして契約見直しなどのケースが散見される。

（伊佐市商工会）

4. 小売業

＜改善傾向を示すコメント＞

小売業全般は、前年並みに推移。ただし、今後輸入原材料の食品は値上げが予定されており買い控えを懸念。蔓延防止が空け、人の動きが出ているのは気持ち的に安堵している。

（小平町商工会）

＜悪化傾向を示すコメント＞

自動車販売関連の事業者は、中古車の需要増のため中古車価格が上昇しており、半導体不足により新車の納期が遅れている状況が続いている。販売をメインとしている事業者は厳しい状況のようである。メンテナンス関連は例年通り。

（栗原南部商工会）

衣料品は昨年同月に比べ、店前の人通りも増え、来店客はやや多くなっている。ネット上での仕入について、スマホを持っているが、操作方法がわからず、苦戦している。食料品は新型コロナ感染拡大の影響を受けて、来店客数が減ったことで売上が減少傾向にある。地域の他の小売店も同様に売上が伸びず、苦慮している。耐久消費財は新車・中古車ともに納期の長期化や価格の上昇が継続しており、今後も続く見込みとのこと。若い世代を中心に修理費等はキャッシュレス支払いも浸透しており、今後のキャッシュレス還元施策にも期待。

（由利本荘市商工会）

衣料品関連の事業者は、昨年度と比較すると売上は増加しているが、仕入に係る費用の先入れ額が引きあがり、資金繰りが厳しくなっている。食料品関連の事業者は、原料を海外特に中国に依存している全ての肥料が高騰、品薄・納品遅れが続いている。蔓延防止明けに米の流通は活性化したが、米価格は底値のまま。以上から農家は投入肥料の節減を図っており、肥料小売り単価への高騰分転嫁もできていない。半年後の離農と米品質低下を懸念している。耐久消費財関連の事業者は、原材料高騰などの影響により、この先（6月）掛け時計の値上がりが予定されている。

（かづの商工会）

イベントなど外出機会が増加しても、衣料品の売行きは芳しくない。食料品は原材料価格の高騰などにより仕入れ価格の上昇が今後も続く見通し。宝飾品等の耐久消費財については、新型コロナウイルス感染拡大以降業況の改善が見られないとのこと。

（射水市商工会）

蔓延防止等重点措置の解除により需要の回復は見込めるが、材料や光熱費の高騰に歯止めがきかず、先月行った値上げも採算を改善するには至っていない。また人手の増加に伴いネット通販は若干ながら減少傾向にあり全体の売上としては微増に留まっている状況。見積案件や受注工事もある程度あり、好転の兆しある。しかし材料の高騰、器具や部品の品不足はかなり不安要素である。仕入の単価の値上がりが、脅威。特に6月の値上げが恐ろしい。当店の値上げは否めない。観光客は戻りつつあるが、全体的にコロナ前までの回復は程遠い状況。

（北杜市商工会）

世界情勢と円安による資材価格高騰による影響が大きく、商品が市場に出回る段階で価格が高騰し、小売業として店頭に並ぶ段階でも価格を上げざる負えない状況である。

（東近江市商工会）

年度替わりで様々な行事があることから売上が上がったが、仕入れ価格も上がっているので景気の良さは実感できていない。

（伊佐市商工会）

衣料品については、仕入単価は上昇傾向。運送費、製造設備の燃料高騰の影響、海外製品は円高の影響もあり。価格転嫁はすぐにできないため小規模事業者の業況は悪化傾向にある。食料品については、原材料、消耗品費等が軒並み値上がり。またコロナにより来店客数もコロナ以前に比べると大きく減少。耐久消費財については、需要自体は回復基調が続いているが、半導体不足が大きく影響し、乗用車や家電関係は供給が間に合わない状況が発生している。今後はウクライナ情勢による原油高騰の影響も懸念される。

（岩美町商工会）

5. サービス業

＜改善傾向を示すコメント＞

新型コロナウイルス関連の規制緩和により、全体的にはやや好転した。今後の見通しとしては、段階的な規制緩和により旅館・宿泊所を中心に需要回復が見込まれる。

（津幡町商工会）

コロナワクチン接種者も増加してきて、感染対策も十分に行っている状況にあることから、観光客等もそれなりに増加している状況にある。

（外ヶ浜町商工会）

＜悪化傾向を示すコメント＞

宿泊業関連は、蔓延防止措置解除以降人流が戻ってきており、宿泊客数が回復しているが、コロナ以前の状況までには至っていない。

（石央商工会）

経済活動が徐々に活発化してきており、回復傾向にあり、GWでの更なる回復が見込まれる。しかし、ウクライナ紛争による原油の高騰、新型コロナウイルスの影響による仕入の高騰による資金繰り悪化が懸念される。

（白神八峰商工会）

宿泊、理美容業においてはコロナ禍の制限緩和により売上は回復傾向にある。一方で洗濯業は需要も回復してはいるが、それ以上に原油の高騰による経費の増加があり、資金繰りは悪化している。

（中央市商工会）

飲食店は引き続き厳しい状況。まん延防止等は解除されても警戒レベルは下がらず、当地区の感染者数も減らないため、年度初めの会合や総会などに伴う飲食利用は控える風潮が続き、特に夜間の利用は少ない。物価高騰により仕入れ価格も上がっており追い打ちをかけている状況。

（佐久市望月商工会）

旅館・宿泊関係のサービス業は、小規模な旅行者の予約等は戻りつつあるが、団体による宴会等は戻っておらず、厳しい状況にあるが、徐々に戻りつつある客足にGW等の期待もある。洗濯関係のサービス業は、原材料の上昇、ガソリン価格の上昇にともない利益の減少となっている。業界全体が悪化している。理・美容関係のサービス業は、1人で営業しているため、顧客1人～2人までが限度 電子マネー、町の商品券取り扱ってはいるが、換金に時間がかかるため現金がありがたい。シャンプーなどの容器値上がりを告知されており自社も値上げを検討中

（みまさか商工会 勝央支所）

飲食・宿泊関連の事業者は、オミクロン株による感染者高止まりによる影響を引き続き受けている。団体利用が減り、少人数利用がメインとなっている。管内の観光地では、移動制限のないGW前半であったため、売上はコロナ前の水準となった。

（真庭商工会）

旅行需要の回復の兆しがあり、それに伴いお出かけ用の服の洗濯需要も増えつつある。仕入額が高騰している。材料が高騰したことで商品を作れなくなった仕入先もあり困っている。

（新富町商工会）

先般からの新型コロナウイルス感染症の影響が継続しており、飲食店を中心に景気が停滞している状況となっている。理美容関連については、お客様が地域の方が多いため売上はやや減少程度だがウクライナ情勢の影響により材料費が高騰しており収益性の悪化を招いている状況となっている。価格転嫁を検討するものの同地区の競合店が値上げしていないため、値上げすることでお客様が離れていかないかお互いに意識している状況となっている。

（佐賀市南商工会）

4月末からのゴールデンウィークは制限なしの移動等による観光入込客が大幅に増加した。そのためこれまで規模縮小を行った事業者（レンタカー）等は売上機会ロスもあったが先行きの不透明感はぬぐえず今後の設備投資を検討中の事業者が多い。

（屋久島町商工会）